

Title	星野俊也教授略歴および研究業績等一覧
Author(s)	
Citation	国際公共政策研究. 2023, 28(1), p. 21-58
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/92590">https://hdl.handle.net/11094/92590</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 星野俊也教授略歴および研究業績等一覧



星野俊也教授は昭和 59 年 3 月に上智大学外国語学部英語学科を卒業後、昭和 61 年 3 月に東京大学大学院総合文化研究科国際関係論専攻（修士課程）を修了した。昭和 61 年 4 月から東京大学大学院総合文化研究科国際関係論専攻（博士課程）に在籍し、第 3 学年末で単位取得退学した後、平成 15 年 3 月に大阪大学から博士号（国際公共政策）を取得した。昭和 63 年 4 月から平成 3 年 3 月まで、在アメリカ合衆国日本国大使館に専門調査員として勤務し、平成 3 年 5 月から平成 10 年 3 月まで、財団法人日本国際問題研究所に研究員、のちに主任研究員として勤務したのち、平成 10 年 4 月から大阪大学大学院国際公共政策研究科に助教授として採用された。平成 15 年 7 月に同教授に昇進し、平成 23 年 4 月からの 3 年間は研究科長を務め、同研究科の発展に尽力した。

星野教授は外務省への転籍出向が二度、大阪大学理事・副学長として大学本部への転籍が一度あり、外務省との関係強化や大学本部の運営に多大な貢献を果たした。最初の外務省出向は平成 18 年 8 月であり、国際連合日本政府代表部（ニューヨーク）に公使参事官として着任した。国際連合第 61 回総会（平成 18 年）と第 62 回総会（平成 19 年）では、二年連続して日本政府代表顧問に任じられた。在任中は政務部に所属し、平和構築委員会の活動に深く関与した。これは国連改革の一環として創設された委員会であり、日本が議長国であった時期を含め、同教授は当委員会に大きな貢献を果たした。二度目の外務省出向は平成 29 年 8 月であり、国際連合日本政府代表部（ニューヨーク）に大使・次席常駐代表として着任した。「持続可能な開発目標（SDGs）」にかかわる経済的・社会的課題が主たる担当であり、それに加えて行財政部門も担当した。平成 30 年の国連経済社会理事会では「持続可能な開発のための科学技術イノベーションフォーラム（STI フォーラム）」が開催され、同教授は共同議長としてリーダーシップを発揮した。

大阪大学本部への貢献も大きく、平成 22 年 4 月には大阪大学研究・産学連携室員、平成 23 年 8 月には大阪大学総長補佐、平成 26 年 4 月には副学長に就任した。さらに平成 27 年 8 月には大阪大学理事・副学長に就任し、1 年間にわたって大阪大学の国際化推進のための陣頭指揮を執った。

以上のように、星野教授は研究科長として国際公共政策研究科のグローバル展開や産学連携強化に尽力しただけでなく、大阪大学の理事・副学長としても大学の国際化推進に確固たるリーダーシップを発揮してきた。2 度の出向からも分かるように外務省からの信頼も厚く、同研究科と外務省との関係強化に多大な貢献を果たしてきた。また産業界からの信頼も同様に厚く、稲盛財団寄附講座「グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション」など、数々の産学連携のプロジェクトを立ち上げてきた。さらに専門誌にとどまらず、全国紙の新聞や一般向け雑誌にも多くの記事、コラム、エッセイを寄稿し、日本の多国間外交の理論と実践の双方を知るオピニオンリーダーとして、貴重な役割を果たしてきた。

この間、研究室では多くの院生を指導し、学生教育に力を注いできた。その結果、大学、研究機関、外務省、国際組織で活躍する人材を数多く輩出してきた。また学術面では専門分野である国際安全保障政策と国連研究において、68 冊の編著書、36 編を超える学術論文など、多大な業績を上げてきた。日本国際政治学会および日本国連学会でも数々の役職を歴任し、学会の発展に大きな貢献を果たした。主要業績としては、「人間の安全保障と日本の国際政策」、「国際平和回復政策の構想と実際—『多国間主義の危機』を超えて—」、「『保護する責任』と国際社会の正義」、そして監訳を担当した国連開発計画（UNDP）『2022 年特別報告書 人新世の脅威と人間の安全保障：さらなる連帯で立ち向かうとき』などが挙げられる。

星野教授は緒方貞子元国連難民高等弁務官（のちに JICA 理事長）の上智大学教授時代の門下生にあたる。緒方氏はアマルティア・セン氏とともに共同議長として「人間の安全保障委員会」報告書（平成 15 年）を国連事務総長に提出したが、こうして国際社会における主流化が進んだ「人間の安全保障」概念について、星野教授は学術面での精緻化に努めると同時に、同概念が国連外交の現場に浸透するように尽力した。のちに同概念は、ポスト冷戦後の日本の国連外交の主軸概念となり、国連創設 60 周年（平成 17 年）に提出された国連平和構築委員会創設案でも理論的支柱となった。また、国連総会（平成 27 年）で打ち出された「持続可能な開発目標（SDGs）」でも、「誰一人取り残さない」社会の実現という理念の中に同概念が反映されている。2020 年代に入ると、気候変動や新型コロナ禍やデジタル技術の影響の拡大などの新しい文脈でも同概念の有用性に改めて政策的な関心が向けられるようになった。かかる問題意識は国連代表部在勤中から星野教授が強調していたものであり、令和 3 年に UNDP が「人間の安全保障に関する特別報告書ハイレベル諮問パネル」を設置したときにも、同教授は積極的な貢献を果たした。このパネルは武見敬三参議院議員とラウラ・チンチージャ元コスタリカ大統領が共同議長を務めたが、そこで同教授は UNDP 内の報告書草案作成チームの要請に基づいてパネルに必要な見解や分析を提供する一方、武見議長の勉強会の座長となってパネル報告書の作成に伴走し、さらに報告書全文の日本語訳も監訳した。「人新世」という新たな時代背景において人間の安全保障概念は見直しを迫られているが、その点でも同教授は研究と実務の両面から指導的役割を果たしている。このように同教授は、政策の形成とその実践の過程に着目し、3 度の在外勤務を含む日本外交の現場において、理論の実践という新たなフロンティアを開拓してきた。

以上のように星野教授は、多くの留学生を含め学生に対する親身の指導、精力的な専門分野の研究、積極的な社会貢献、また地道な学内運営に多大な貢献を尽くしてきた。ここに、大阪大学国際公共政策学会はその功績をたたえ、深く感謝の意を表する。

### 主要著書（共編著書、翻訳等を含む）

1. 『2022 年特別報告書 人新世の脅威と人間の安全保障:さらなる連帯で立ち向かうとき』日経 BP、2022 年
2. 『平和の共有と公共政策（グローバリズムと公共政策の責任 第一巻）』大阪大学出版会、2016 年
3. 『安全保障論：平和で公正な国際社会の構築に向けて』信山社、2015 年
4. *U.S.-Japan peacebuilding cooperation: roles and recommendations toward a Whole-Of-Alliance approach*, The Institute for Foreign Policy Analysis (IFPA), 2012 年
5. 『平和政策』有斐閣、2006 年

他 68 冊

### 主要学術論文

1. “Japan and the Transformation of the United Nations - Catalyzing a Comprehensive Collective Security for Our Common Future,” The Japan Institute of International Affairs (JIIA), *AJISS-Commentary*, March 2020.
2. 「日本の ODA と『人間の安全保障』（ODA の 60 年を振り返る）」『国際問題』第 637 号、2014 年
3. 「未来共生学のすすめ」『未来共生学』第 1 巻第 1 号、2014 年
4. 「『保護する責任』と国際社会の正義」、日本国際政治学会『国際政治』171 号、2013 年

5. 「多国間主義とグローバリズムの間で—国連研究の展開と課題」日本国際連合学会『国連研究の課題と展望』2009年
6. 「国際平和回復政策の構想と実際—『多国間主義の危機』を超えて—」日本国際政治学会『国際政治』第137号、2004年
7. 「人間の安全保障と日本の国際政策」国際安全保障学会『国際安全保障』第30巻第3号、2002年
8. 「『平和強制』の合法性と正統性—「集団的人間安全保障」の制度化を目指して—」国際法学会『国際法外交雑誌』第101巻第1号、2002年
9. 「国連の集団的安全保障制度の意義と課題」日本国際連合学会『国連研究』第1巻第1号、2000年
10. 「多国間レジームの形成とパフォーマンス—『南極レジーム』を例として—」日本国際政治学会『国際政治』第87号、1988年

他 36 編



## 星野俊也教授研究業績等一覧

## 1. 書籍等出版物（共編著書、翻訳、出版協力等を含む）

- 『2022年特別報告書 人新世の脅威と人間の安全保障：さらなる連帯で立ち向かうとき』国連開発計画（UNDP）著・訳、星野俊也（監訳）、日経BP、2022年12月
- 『2021年パワーポリティクスの時代：日本の外交・安全保障をどう動かすか』外交政策センター、川上高司、星野俊也、石沢靖治（共著、編集統括）、創成社、2021年5月（ISBN: 9784794440860）
- 『わたしがかわる、みらいもかわる、SDGsはじめのいっぽ』原琴乃、汐文社、2020年（推薦文）
- 『自由の共有と公共政策（グローバリズムと公共政策の責任 第三巻）』星野俊也、大槻恒裕、村上正直、大久保邦彦（共編）、大阪大学出版会、2019年10月（ISBN: 9784872595451）
- *Crisis Management Beyond the Humanitarian-Development Nexus*, Hanatani Atushi, Oscar A. Gomez and Chigumi Kawaguchi(eds.), Routledge, 2018（分担執筆）
- 『富の共有と公共政策（グローバリズムと公共政策の責任 第二巻）』星野俊也、大槻恒裕、村上正直（共編）、大阪大学出版会、2018年3月（ISBN: 9784872595444）
- 『グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション』大阪大学大学院国際公共政策研究科・稲盛財団寄附講座企画委員会（編）、金子書房、2018年（編集協力者）
- *Japan As a “Peace Enabler”: Views From The Next Generation*, Yuki Tatsumi (ed.), Stimson Center, March 2016（分担執筆）
- *Navigating Change: ASEAN-Japan Strategic Partnership in East Asia and in Global Governance*, Japan Centre for International Exchange, 2015（分担執筆）
- 『平和の共有と公共政策（グローバリズムと公共政策の責任 第一巻）』星野俊也、大槻恒裕、村上正直（共編）大阪大学出版会、2016年3月（ISBN: 9784872595437）
- 『日本と国連—京都から世界平和を願って』神余隆博（編）、関西学院大学出版会、2016年（分担執筆）
- 『国際安全保障：日本と国連：国連加盟60周年をめぐって』国際安全保障学会（編）、内外出版、2016年（編集責任者）
- 『ジェンダーと国連』日本国際連合学会（編）、国際書院、2015年（分担執筆）
- 『安全保障論：平和で公正な国際社会の構築に向けて』神余隆博、星野俊也、戸崎洋史、佐渡紀子（共編）、信山社、2015年1月（ISBN: 9784797291773）
- 『いくつもの声：ガヤトリ・C・スピヴァク日本講演集』Spivak, Gayatri Chakravorty, 星野俊也（編）、本橋哲也、篠原雅武（翻訳）、人文書院、2014年2月（ISBN: 9784409030813）
- 『平和のために、みんな一緒』千玄室（著）、千玄室 x 星野俊也（対談）、淡交社、2014年
- 『環境と平和—より包括的なサステナビリティを目指して』武内和彦（編）、国際書院、2014年（分担執筆）
- 『グローバル・ガバナンスと日本（歴史のなかの日本政治4）』細谷雄一（編）、中央公論新社、2013年11月（ISBN: 9784120045592）（分担執筆）
- 『日本の外交 第5巻 対外政策 課題編』大芝亮（編）、岩波書店、2013年（分担執筆）
- 『国際機構論』内田孟男（編）、ミネルヴァ書房、2013年（分担執筆）



- *New Approaches to Human Security in the Asia-Pacific: China, Japan and Australia*, William T. Tow, David Walton, Rikki Kersten (eds.), Ashgate, 2013 (分担執筆)
- *The Legality and Legitimacy of the Use of Force in Northeast Asia*, Brendan Howe, Boris Kondoch (eds.), Brill, 2013 (分担執筆)
- *U.S.-Japan peacebuilding cooperation: roles and recommendations toward a Whole-Of-Alliance approach*, Hoshino Toshiya, S. Konishi, Weston (共編著) The Institute for Foreign Policy Analysis (IFPA), 2012 (ISBN: 9781480008847)
- 『東京財団政策研究：国連の刷新と日本の対国連外交の戦略的展開に向けて』東京財団、2011年5月 (分担執筆)
- 『平和構築・入門』藤原帰一他 (編)、有斐閣、2011年12月 (分担執筆)
- *Regional Dynamics and Institution Building in East Asia*, Soo-Heon Park(ed.), Kyung Hee University Press, 2010 (分担執筆)
- 『南部アジア』山影進・廣瀬崇子 (編)、ミネルヴァ書房、2011年 (分担執筆)
- 『国際公共政策入門』高阪章 (編)、大阪大学出版会、2008年 (分担執筆)
- 『日本と国連の50年：オーラルヒストリー』明石康・高須幸雄・野村彰男他 (編)、ミネルヴァ書房、2008年 (分担執筆)
- *Global Governance and Japan: The International Architecture*, Glenn D. Hook and Hugo Dobson (eds.), Routledge, 2007 (分担執筆)
- 『平和政策』藤原帰一 (編)、有斐閣、2006年 (分担執筆)
- 『国連研究：持続可能な開発の最前線』日本国際連合学会 (編)、国際書院、2006年 (編集責任者)
- 『グローバル・ガバナンスー「新たな脅威」と国連・アメリカ』総合研究開発機構 (編)、日本経済評論社、2006年 (分担執筆)
- 『東ティモールを知るための50章』山田満 (編)、明石書店、2006年 (分担執筆)
- 『国連研究：市民社会と国連』日本国際連合学会 (編)、国際書院、2005年 (編集責任者)
- 『大量破壊兵器の軍縮論』黒澤満 (編)、信山社、2004年 (分担執筆)
- *Global Views on the European Union*, Martin Ortega and Amitav Acharya (et.al.), EU Institute for Security Studies, 2004 (分担執筆)
- *The United Nations and Global Crisis Management*, Sung-Hack Kang (ed.), Korean Academic Council on the United Nations System, 2004 (分担執筆)
- *Cooperation Experiences in Europe and Asia*, Hoon Jaung and Yuichi Morii (eds.), Shinzansha Press, 2004 (分担執筆)
- *Crisis Management in Japan and the United States: Creating Opportunities for Cooperation amid Dramatic Change*, James Schoff (ed.), Brassey's, 2004 (Co-Project leader)
- 『紛争と復興支援—平和構築に向けた国際社会の対応』稲田十一他 (編)、星野俊也 (分担執筆)、有斐閣、2004年
- 『日本の東アジア構想』添谷芳秀・田所昌幸 (共編)、慶応義塾大学出版会、2004年 (分担執筆)
- 『日本の安全保障』赤根谷達夫・落合浩太郎 (共編)、有斐閣、2004年 (分担執筆)
- 『イラク戦争と自衛隊派遣』森本敏 (編)、東京経済新報社、2004年 (分担執筆)
- 『アジア太平洋の多国間安全保障』森本敏 (編)、日本国際問題研究所、2003年8月 (ISBN: 4819303058) (分担執筆)

- 『人道危機と国際介入－平和回復の処方箋』広島市立大学広島平和研究所編、有信堂、2003年（編集統括）
- *Containing Conflict: Cases in Preventive Diplomacy*, Hideo Sato (ed.), Japan Center for International Exchange, 2003（分担執筆）
- 『「新しい戦争」時代の安全保障』田中明彦（編）、都市出版、2003年（分担執筆）
- 『国際危機学－危機管理と予防外交』木村汎（編）、世界思想社、2002年（分担執筆）
- *UN, PKO and East Asian Security: Currents, Trends and Prospects*, Soo-Gil Park and Sung-Hack Kang (eds.), Korean Academic Council on the United Nations System, 2002（分担執筆）
- 『グローバル・ガバナンス－政府なき秩序の模索』渡邊昭夫、土山實夫（共編）、東京大学出版会、2001年（分担執筆）
- 『ディベートで学ぶ国際関係』小沢一彦、毛利勝彦他（編）、玉川大学出版会、2001年（分担執筆）
- 『21世紀の国連システム』日本国際連合学会（編）、国際書院、2000年（分担執筆）
- *Asia's Emerging Security: Reconciling Traditional and Human Security*, William T. Tow, Ramesh Thakur and In-Taek Hyun (eds.), United Nations University Press, 2000（分担執筆）
- *Crisis and Transformations in Northeast Asia: Implications for the Philippines*, Xavier Anthony Furtado (ed.), De La Salle University, 1999（分担執筆）
- 『アジア太平洋の地域秩序と安全保障』菅英輝、グレン・フック、ステファニー・ウェストン（共編）、ミネルヴァ書房、1999年7月（ISBN: 4623030326）（分担執筆）
- 『21世紀初頭における北東アジアの戦略環境：抑止と協調的安全保障』Joseph S. Nye, Richard K. Betts, Viktor Aleksandrovich Kremeniuk, 小川伸一, Chin, Kin Wah Chin, 星野俊也（共著）、防衛庁防衛研究所、1999年6月（ISBN: 4939034054）
- *Comprehensive Security and Multilateralism in Pot-cold War East Asia*, Kwang Il Baek (ed.), The Korean Association of International Studies, 1998（分担執筆）
- *Bilateralism in a Multilateral Era: the Future of the San Francisco Alliance System in the Asia-Pacific*, Toshiya Hoshino, William Tow and Russell Trood (eds.), The Japan Institute of International Affairs Press, 1997
- 『アジアの人権－国際政治の視点から』渡邊昭夫（編）、星野俊也（編集補佐・分担執筆）、日本国際問題研究所、1997年6月
- 『アメリカと宗教』森孝一（編）、星野俊也（編集補佐・分担執筆）、日本国際問題研究所、1997年2月（ISBN: 4819302477）
- 『新戦略の模索：冷戦後のアメリカ』佐藤誠三郎（編）、星野俊也（編集補佐・分担執筆）、日本国際問題研究所、1994年6月
- 『現代日本外交の分析』梅本哲也・草野厚（共編）、東京大学出版会、1994年（分担執筆）
- 『アメリカ社会とコミュニティ』本間長世（編）、星野俊也（編集補佐・分担執筆）、日本国際問題研究所、1993年3月
- 『戦略援助と日本外交』デニス・T・ヤストモ（著）、渡邊昭夫（監訳）、星野俊也（分担翻訳）、同文館出版、1989年12月（ISBN: 4495423819）
- 1997年から2004年（8年間）、アジア経済研究所 『アジア動向年報』（アジア経済研究所刊、米国担当）

## 2. 論文・時評・コラム・エッセイ等

- 「誰がために国家は建設されるのか」『国際問題』第706号、2022年4月
- 「『脱核兵器』と持続可能性～ポストSDGsに向けた転換と移行のための課題とビジョン～」広島県 / へいわ創造機構ひろしま (HOPE)、2022年4月5日
- 「学校の現場で実践するSDGs学習に向けて」『たのしい学校』『中学校教育フォーラム』令和3年冬号、2022年1月1日
- 「国連は今ー」日本国際連合協会『国連ジャーナル』連載
- 「国連は今ー核軍縮に向けた勝負の夏／『2045年』からのバックキャストによる核廃絶の推進」(2022年秋号)、2022年9月
- 「国連は今ー『復興』への決意／『私たちの共通の課題』報告書／持続可能性の危機とESGによる転換」(2022年春号)、2022年3月
- 「国連は今ー五輪・パラリンピックと平和／ミャンマー・クーデターと国連／2022年の国連」(2021年秋号)、2021年9月
- 「国連は今ー平和への希望と二種類の危機／新型コロナ感染拡大が意味するもの／カーボンニュートラルへの挑戦／『ポストコロナ』の世界秩序のための変革を」(2021年春号)、2021年3月
- “Japan must use its special relationship with Myanmar to facilitate peace,” *The Japan Times*, May 6, 2021, co-authored by Akashi Yasushi, Hasegawa Sukehiro, Yamamoto Tadamichi, Oshima Kenzo, Shinyo Takahiro and Hoshino Toshiya
- 「国連における人間の安全保障の現在 (いま)」日本国際連合学会『国連研究ー持続可能な開発目標と国連ーSDGsの進捗と課題 (22)』185-190頁、2021年6月
- 「コロナ禍の下での国際協力は」『外交』第64号(2020年11月・12月)、2020年12月
- 「緒方先生に学ぶアティチュード」JICA『mundi』(第86号)、2020年11月
- 「緒方先生と人間の安全保障の実践」『国連ジャーナル』2020年秋号、2020年10月
- “Japan and the Transformation of the United Nations - Catalyzing a Comprehensive Collective Security for Our Common Future,” The Japan Institute of International Affairs (JIIA), *AJISS-Commentary*, March 2020
- “In Search for a ‘Smart Balancing Order’ in East Asia,” *East Asian Review*, Asian Research Institute, Osaka University of Economics and Law, March 2020
- “Achieving the SDGs through Science, Technology and Innovation – as Co-Chair of the 3rd UN STI Forum,” *Diplomatic Bluebook 2019*, Ministry of Foreign Affairs, Japan. (<https://www.mofa.go.jp/files/000527155.pdf>)
- コラム「科学技術イノベーションを通じたSDGsの達成～第3回国連STIフォーラムの共同議長として～」外務省『外交青書』2019年版、2019年8月
- 「ニューヨーク通信 II」日本国際連合協会『国連ジャーナル』連載
  - 「SDGs『行動の10年』の始まり／オリンピック休戦決議のコンセンサス採択」2020年春号
  - 「ハローキティと広げるSDGs／人間の安全保障:25年目からの新展開」2019年秋号
  - 「国連組織改革イニシアティブが始動／国連予算と加盟国による分担率交渉」2019年春号
  - 「国連をめぐるこの10年の変化／国連STIフォーラム」2018年秋号
- 「海外ニュースの読み方」日本国際連合協会『国連ジャーナル』連載

- 「グテーレス国連新事務総長の就任／プーチン露大統領の訪日が残した成果／南スーダンの国民対話をいかに進めるか」 2017年春号、2017年3月
- 「オバマ米大統領の広島訪問／南シナ海仲裁裁判所裁定／イスラーム過激派テロ」 2016年秋号、2016年9月
- 「IS封じ込めをいかに進めるか／COP21と『パリ協定』の採択／北朝鮮『水爆』実験の意図は」 2016年春号、2016年3月
- 「日中関係 改善への道標／米・キューバ国交正常化交渉のスタート／アフガニスタン情勢 新政権の誕生と治安維持の課題」 2015年秋号、2015年9月
- 「国連創設70周年／イラン核合意／アジアインフラ投資銀行」 2015年春号、2015年3月
- 「ロシアのクリミア併合と戦後国際秩序の揺らぎ／『イスラーム国』の台頭と国家・人道の危機／国連安全保障理事会改革は、できる」 2014年秋号、2014年9月
- 「国家安全保障会議の創設と国家安全保障戦略の策定／南スーダンにおける自衛隊の国連平和協力／米国家安全保障局の改革」 2014年春号
- 「『スノーデン問題』の衝撃／エジプト『クーデター』の背景とは／報じられない紛争—コンゴ民主共和国の惨状」 2013年秋号
- 「『尖閣問題』と日中関係の今後／アルジェリア人質事件と北西アフリカにおけるテロの脅威」 2013年春号、2013年3月
- 「ミサイル発射後の北朝鮮／シリア『内戦』と国連安保理の限界／南北スーダン、危機からの脱却」 2012年秋号、2012年9月
- 「海外ニュースの読み方 国際情勢を考えるキーワード」 2012年春号、2012年3月
- 「海外ニュースの読み方 国際情勢を考えるキーワード」 2011年秋号、2011年9月
- 「海外ニュースの読み方：コートジボアール情勢／北朝鮮による韓国砲撃事件／米外交の新方針—QDDRの試み」 2011年春号、2011年3月
- 「海外ニュースの読み方（連載4）」 2010年秋号、2010年9月
- 「海外ニュースの読み方（連載3）」 2010年春号、2010年3月
- 「海外ニュースの読み方（連載2）」 2009年秋号、2009年9月
- 「海外ニュースの読み方（連載1）」 2009年春号、2009年3月
- “Japan’s Policies on Conflict Prevention and International Peace Cooperation Activities,” The Japan Institute of International Affairs (JIJA), Japan and the World, Japan Digital Library, March 2017
- 「民族の『年代記』と『聖域』、そして『未来』: タイ深南部を訪ねて考えたこと」 Asia Peacebuilding Initiatives (APBI)、2017年2月
- 新聞批評「新聞に喝！」『産経新聞』  
2017年  
『拉致』の英語発信 世界の世論動かせ」 2017年7月  
「国連特別報告、もっと議論を」 2017年7月  
「FBI長官解任 『一線』越えたトランプ氏」 2017年5月21日  
「シリア攻撃報道 メディアは本能に対抗する理性を持って」 2017年4月16日  
「ミンダナオ和平 地道だからこそ報じる工夫を」 2017年3月12日  
「安保理、異例の『棄権』 的確に背景を伝えよ」 2017年2月5日

## 2016年

- 「拉致問題風化させるな メディアはきめ細かい報道を」 2016年12月25日
- 「執拗なムスダン発射、技術分析も必要」 2016年11月13日
- 「対北朝鮮、米国の3者コラボ」 2016年10月9日
- 『シン・ゴジラ』がメディアに与えた『気づき』 2016年9月6日
- 「日常化するテロ 対策報道も役割」 2016年7月31日
- 「ネットで拡散した沖縄のある『ニュース』」 2016年6月
- 「広島訪問と外交 歴史の舞台裏報道を」 2016年5月7日
- 「トランプ旋風、有権者を『目利き』に…失われているのは『心』」 2016年3月26日
- 「冷静な危機管理意識の醸成を」 2016年2月13日
- 『なぜ』に立ち向かう年に」 2016年1月2日

## 2015年

- 「対テロ『すべきではないこと』も語れ」 2015年11月22日
- 『国連』は政治の舞台だけではない…国際協調の動きにも光を」 2015年10月11日
- 「戦後70年、電子メディアが伝えた『お言葉』の英訳」 2015年8月30日
- 「新国立白紙『日本らしさの欠落』とは」 2015年7月26日
- 「安保法制審議『学説』も現実的観点から分析を」 2015年6月14日
- 「首相演説が『東アジア』を現実路線に」 2015年5月10日
- 「古代遺跡破壊は『文明否定』活動だ」 2015年3月29日
- 「見落とすな、『開発協力大綱』の新しさ」 2015年2月22日
- 『戦後70年』を新秩序スタートの年に」 2015年1月11日

## 2014年

- 『拉致被害者新たな安否情報なし』は朝日のミスリード」 2014年11月30日
- 「ノーベル賞、中韓の指摘で気づく課題」 2014年10月26日
- 「国連安保理改革に向け健全な議論を」 2014年9月14日
- 『共同歩調』と『顔色うかがい』は違う」 2014年8月10日
- 「戦勝と敗戦、二分法からの脱却」 2014年6月29日
- 「研究と報道に通じる『誤り』の対処」 2014年4月12日
- 「垂れ流される海外論調」 2014年3月8日
- 「掘り起こしと検証は公器の任務」 2014年1月20日

## 2013年

- 「危機の本質を捉えよ」 2013年12月21日
- 「政治ありきを止める報道」 2013年11月10日
- 「米国『迷走』と書くメディアの短絡」 2013年9月29日
- 「国内向けすぎた『ナチス発言』報道」 2013年8月25日
- 「日本と国連の60年：その成果と展望（日本と国連：国連加盟60周年をめぐって）」『国際安全保障』第43巻第4号、1-7頁、2016年3月
- 「国連は『戦後』を超えられるのか：創設七〇年の変容と展望（国連と日本）」『外交』第34号、118-125頁、2015年11月
- 「国連安全保障理事会と日本」『修親』2015年10月号、2015年

- 「日本の ODA と『人間の安全保障』(ODA の 60 年を振り返る)」『国際問題』第 637 号、2014 年 12 月
- 「国際医療と平和—未来共生への希望」『大阪大学医学部学友会会誌』Vol.34 pp.45-48、2014 年 12 月
- “‘Proactive Contribution to International Peace’ Japan's Cooperative Strategy as a ‘Natural’ Country,” *Japan SPOTLIGHT*, May/June 2014, 2014 年 5 月
- 「平和構築分野に関する有識者懇談会提言」(懇談会委員)、外務省平和構築分野に関する有識者懇談会、2014 年 4 月
- 「強まる地政学リスク⊕国家軸の国際秩序 限界に」『日本経済新聞』2014 年 9 月 11 日
- 「未来共生学のおすすめ」『未来共生学』第 1 巻第 1 号、11-25 頁、2014 年 3 月 31 日
- 「総論：グローバル・コモンズにおける安全保障ガバナンスのあり方と日米同盟の課題—サイバー空間、宇宙、北極海を中心として—」『グローバル・コモンズ (サイバー空間、宇宙、北極海) における日米同盟の新しい課題』 pp.1-9、2014 年 3 月
- 「恩師を語る」『U7』2014 年 1 月
- 「アフリカ開発 新たな展望」『mog』コメント、2013 年 6 月 12 日
- 「日豪戦略的パートナーシップにおける成果と課題—5 年目の検証と将来展望」、オーストラリア学会『オーストラリア研究』26 巻、pp. 11-19、2013 年
- 「グローバル人材の育成と高校模擬国連」『ACCU News』No.388、 p2、2013 年 3 月
- 「『保護する責任』と国際社会の正義」『国際政治』171 号、 pp.129-143、2013 年 1 月
- 「日米中関係の行方と日本の課題」『日中経協ジャーナル』No.227、pp.14-17、2012 年 11 月
- 「日本における外交・安全保障関係シンクタンクのあり方について～外交力を強化する『日本型シンクタンク』の構築～」外交・安全保障関係シンクタンクのあり方に関する有識者懇談会報告書、2012 年 8 月
- “Through the looking glass? China's rise as seen from Japan,” (co-authored with Haruko Satoh), *Journal of Asian Public Policy*, Vol.5 No.2, pp.181-198, 2012 年 7 月
- 「アフリカの人々と『希望』を分かち合うために」月刊『公明』2011 年 11 月号、30-35 頁、2011 年 11 月
- “Institute for Economics & Peace, Global Peace Index 2011 Methodology, Results & Findings, *Institute of Economics & Peace*, 2011 年 5 月
- 「文化遺産保護と平和構築」『理』Vol.26、2011 年 3 月
- 「20 年後に『存在感のある国家』になるための 20 の提言」(森本敏他と共著)『中央公論』2010 年 10 月号、196-205 頁、2010 年 9 月
- “Peacebuilding & Human Security in Fragile States,” *Japan Spotlight*, Vol.28-No.6 (November/December 2009)
- 「平和構築に挑戦する国連」『公明』第 42 号、pp36-41、2009 年 6 月
- 「多国間主義とグローバリズムの間で—国連研究の展開と課題」日本国際連合学会『国連研究の課題と展望』2009 年 6 月
- 「紛争予防と国連—国連平和構築委員会の活動を中心として」国際協力機構 (JICA)『国際協力研究』第 24 巻第 1 号 (通巻 47 号特別号)、2008 年 4 月
- 「平和のダイヤモンドを磨く」『Refugee is ...』 Vol.4、2009 年 2 月

- 「ニューヨーク通信／平和構築委員会での指導的役割／効果的な平和構築に向けた規範形成／PBC議長任期延長問題」『国連ジャーナル』2008年秋号、pp25-28、2008年9月
- 「国連・平和構築・日本—国連平和構築委員会の活動を中心として—」『国際公共政策研究』第13巻第1号、pp101-109、2008年9月
- 「アフリカのポスト紛争国に希望の未来を築くために～紛争予防と開発協力に関する英ウィルトンパーク会議から～」東京財団「国連ウォッチング」、2008年1月28日
- “The Peacebuilding Equation: Human Security and Rebuilding the Function of Government,” *Gaiko Forum*, Vol.6 No.4 (Winter 2007)
- 「平和構築の時代—日本がリードする人間の安全保障+国家機能の再建」『外交フォーラム』2006年11月号（英語版は、“The Peacebuilding Equation: Human Security and Rebuilding the Function of Government,” *Gaiko Forum*, Vol.6 No.4 (Winter 2007)）
- 「国連平和構築委員会の活動と日本—議長国としての役割とは」東京財団「国連ウォッチング」2007年7月24日
- 「連載：国連を知る」『時の法令』
  - ① 「国連とは何か？」（2007年4月30日）
  - ② 「国連とグローバル・ガバナンス」（5月30日号）
  - ③ 「地球が教室—『模擬国連』の醍醐味」（6月30日号）
  - ④ 「『平和のための装置』としての国連」（7月30日号）
  - ⑤ 「国連の『戦後』はいつ終わるのか？」（8月30日号）
  - ⑥ 「財政面から見た国連と日本」（9月30日号）
  - ⑦ 「国連総会の秋」（10月30日号）
  - ⑧ 「平和構築の『希望』」（12月30日号）
  - ⑨ 「紛争予防に投資にする『勇気』」（2008年1月30日号）
  - ⑩ 「気候変動問題と『環境の国連事務総長』」（2月28日号）
  - ⑪ 「国連の『力』とは」（3月30日号）
- 「連載：平和構築」『時の法令』
  - ① 「なぜいま『平和構築』なのか」（2006年4月30日号）
  - ② 「平和構築と『人間の安全保障』」（5月30日号）
  - ③ 「東ティモール平和構築の試練」（6月30日号）
  - ④ 「『世界難民の日』と《希望》」（7月30日号）
  - ⑤ 「ODAで『継ぎ目のない』平和構築支援は可能か」（8月30日号）
  - ⑥ 「平和構築と民主選挙—コンゴ民主共和国の実践」（9月30日号）
  - ⑦ 「アナン国連事務総長の『レガシー』」（10月30日号）
  - ⑧ 「国連平和構築委員会、始動！」（11月30日号）
  - ⑨ 「『女性・平和・安全』と平和構築」（12月30日号）
  - ⑩ 「イラクの復興と平和構築の挑戦」（2007年1月30日号）
  - ⑪ 「『紛争ダイヤ』の撲滅に向けて」（2月28日号）
  - ⑫ 「『平和国家』を拡大再生産する」（3月30日号）
- 「WHO（世界保健機関）と四半世紀—中嶋宏 WHO 名誉事務局長に聞く」『国連ジャーナル』2006年春号、22-25頁、2006年3月

- 「転機に立つ OECD」『monthly JICA』 2006年1月号、26-27頁、2006年1月
- 「国際政治学における<生命>の再発見」『学士会会報』 NO.856、PP.32-37、2006年1月
- 「スーダンにおける平和構築と日本の役割ー現地を訪ねて」『外交フォーラム』第209号、2005年12月号、74-81頁、2005年11月
- 「座談会 第三の『解放』の時代を迎えたー2005年を歴史的転換点に」『外交フォーラム』 第208号、2005年11月号、14-23頁、2005年10月
- 「アメリカと国連外交」『monthly JICA』 2005年10月号、26-27頁、2005年9月
- 「それでも日本が常任理事国になるべき理由」『フォーサイト』 2005年7月号、60-61頁、2005年7月
- 「日本が『常任理事国』入りを狙うー国連改革で演じられるパワーゲームの熾烈」『週刊エコノミスト』 2005年6月21日特大号、9-12頁、2005年6月
- 「国連改革で何が変わるのか」『外交フォーラム』 2005年4月号、34-39頁、2005年4月
- 「在日米軍基地の将来と沖縄のトランスフォーメーション」『世界週報』2005年4月26日号、pp.6-9、2005年4月
- 「米軍再編と沖縄のグランドストラテジーー海兵隊の分散化と沖縄変革のススメー」沖縄平和協力センター（OPAC）調査研究「米軍再編と在沖米軍基地のゆくえ」報告書、pp.22-23、2005年3月
- “Japan : A Japanese view on the global role of the European Union”, *Global views on the European Union, Chaillot Paper* 72, pp.83-92, 2004年11月
- 「教えて！世界のニュース No.15 多国籍軍」『国際協力』 2004年9月号、2004年9月
- 「国連と平和<3> : 集団安全保障の再定義を」『公明新聞』 2004年8月
- 「国際平和回復政策の構想と実際ー『多国間主義の危機』を超えてー」日本国際政治学会『国際政治』第137号、pp.30-44、2004年6月
- 「国や地域の大きな格差は『平和構築』にとって危険です。」（シリーズ大使に聞く）『国連ジャーナル』 Vol.4、2004年6月、2004年6月
- 「アメリカとアジアーイラク戦争の重圧のなかで」『アジア動向年報・2004年版』 pp.27-32、2004年5月
- 「日本はどうする イラク3邦人人質ー自衛隊撤退要求」『毎日新聞』 2004年4月
- 「自衛隊海外プレゼンスの戦略的意義」（リレーコラム）『飛鳥』 2004年4月
- 「イラク戦争1年」『公明新聞』 2004年3月
- 「日本の情報体制強化には人材育成が決め手だ」『日本人のちから』 vol.6、2004年3月
- 「復興と和解の実現に向け、国際社会の英知試される年」『公明新聞』 04年私の視点、2004年1月
- 『グローバル・ヴィジョン』時評・連載

#### 2004年

- 「同盟の証しとはー『ノルマンディー』から考える」 vol.57、2004年8月号
- 「『名誉』が赤字になる前に」 vol.56、2004年7月号
- 「検証9・11事件は防げたか」 vol.55、2004年6月号
- 「イラク戦争から一年」 vol.54、2004年5月号
- 「大量破壊兵器はどこに」 vol.53、2004年4月号
- 「『サダム以後』の国際政治」 vol.52、2004年3月号



- 「イラク復興支援と日米関係」 vol.51、2004年2月号  
「中央アジアの新たなグレートゲーム」 vol.50、2004年1月号

**2003年**

- 「米欧間の亀裂修復はなるか」 vol.61、2003年12月号  
「6者協議のこれから」 vol.60、2003年11月号  
「リベリアと米国」 vol.59、2003年10月号  
「危険水域に入った北朝鮮の核」 vol.58、2003年9月号  
「イラン・北朝鮮コネクション」 vol.57、2003年8月号  
「いまこそ国連必要論を説く」 vol.56、2003年7月号  
「イラク戦争が問いかけるもの」 vol.55、2003年6月号  
『『ネオコン』たちの野望』 vol.54、2003年5月号  
「イラク戦争を回避する道」 vol.53、2003年4月号  
「イランとどうつきあうか」 vol.52、2003年3月号  
『『枠組み』からの離別—北朝鮮核開発再開の衝撃』 vol.51、2003年2月号  
「ドキュメント—対イラク決議の舞台裏」 vol.50、2003年1月号

**2002年**

- 「ブッシュ・ドクトリン」 vol.61、2002年12月号  
「追悼と新たな決意—1年後の『9・11』」 vol.60、2002年11月号  
「イラク攻撃は不可避か」 vol.59、2002年10月号  
「虚飾の『企業統治』」 vol.58、2002年9月号  
『『全球化』と東アジアのFTA』 vol.57、2002年8月号  
「日米危機管理協力とは何か」 vol.56、2002年7月号  
「混迷の中東、板挟みの米国」 vol.55、2002年6月号  
「ブッシュ大統領訪日の真意」 vol.54、2002年5月号  
『『悪の枢軸』演説の功罪』 vol.53、2002年4月号  
「不審船事案」 vol.52、2002年3月号  
「ITとRMAと外交」 vol.51、2002年2月号  
『『ポストモダン戦争』の行方』 vol.50、2002年1月号  
「テロとインテリジェンスの戦い」 vol.50、2001年12月号

**2001年**

- 「合衆国が静止した日」 vol.49、2001年11月号  
『『ユニラテラリズム』の米国』 vol.48、2001年10月号  
「キャンプデービッドの出会い」 vol.47、2001年9月号  
「ASEMという仕掛け」 vol.46、2001年8月号  
「米州自由貿易圏の構築」 vol.45、2001年7月号  
「えひめ丸と偵察機事故」 vol.44、2001年6月号  
「米韓関係と北朝鮮」 vol.43、2001年5月号  
「新展開のミャンマー情勢」 vol.42、2001年4月号  
「米経済—繁栄をめぐる攻防」 vol.41、2001年3月号  
「トランジション」 vol.40、2001年2月号

「異常事態の米大統領選挙」 vol.39、2001年1月号

#### 2000年

「独裁者の転落」 vol.38、2000年12月号

「国連ミレニアム総会」 vol.37、2000年11月号

「最高首脳外交の季節」 vol.36、2000年10月号

「南太平洋から」 vol.35、2000年9月号

「ベトナム戦争終結のとき」 vol.34、2000年8月号

「ハリケーン・エリアン」 vol.33、2000年7月号

「政権交代の波紋」 vol.32、2000年6月号

「スーパーチューズデー」 vol.31、2000年5月号

「テヘランからのメッセージ」 vol.30、2000年4月号

「ポスト・エリツィンの憂鬱」 vol.29、2000年3月号

「西暦2000年の地球」 vol.28、2000年2月号

「『壁』崩壊—10年後の証言」 vol.27、2000年1月号

#### 1999年

「東ティモールの悲劇と希望」 vol.26、1999年12月号

「北東アジアのミサイル危機」 vol.25、1999年11月号

「21世紀の世界と国連」 vol.24、1999年10月号

「米ロ関係と核の将来」 vol.23、1999年9月号

「日米中トライアングル」 vol.22、1999年8月号

「NATO—50年目の試練」 vol.21、1999年7月号

「ユーゴ空爆のジレンマ」 vol.20、1999年6月号

「男と女の米国政治」 vol.19、1999年5月号

「合衆国の現状」 vol.18、1999年4月号

「大統領弾劾裁判」 vol.17、1999年3月号

「日米韓—提携外交の好機」 vol.16、1999年1・2月号

- 「日本再興・なにわ発 OSIPP 通信」『大阪日日新聞』連載

「サミット外交」2003年6月27日

「イラク戦争と北朝鮮」2003年4月24日

「イラン再訪」2003年1月17日

「日朝関係の将来」2002年10月4日

「東アジア圏、再び」2002年6月28日

- 「アメリカとアジア—戦争の予感とユニラテラリズムの行方」『アジア動向年報・2003年版』pp.27-32、2003年5月

- “Security Communities, Power Sharing, and Preventive Diplomacy,” *Containing Conflict: Cases in Preventive Diplomacy*, pp.61-96, 2003年3月

- 「人間の安全保障と日本の国際政策」『国際安全保障』第30巻第3号、2002年12月

- 「新・世界学講座：一極構造の世界と日本の安全」『産経新聞』2002年12月

- 「アメリカとアジア—9・11同時多発テロ事件の衝撃」『アジア動向年報・2002年版』27-32頁、2002年6月

- 「人道危機と国際介入－総論」『人道危機と国際介入－平和回復の処方箋－』（新介入主義の正統性と合理性に関する研究会、報告書）、1-15 頁、2002 年 5 月
- 「『平和強制』の合法性と正統性－『集団的人間安全保障』の制度化を目指して－」『国際法外交雑誌』第 101 巻第 1 号、2002 年 5 月
- “Japan and the United Nations,” *Institut de Recherches Politiques et Economiques sur le Japon et l’Asie Contemporains Perspectives Asiatiques*, No.11, pp.80-85, 2002 年 4 月
- 「サイバー空間における脅威と危機管理のあり方」平成 13 年度外務省委託研究報告書『IT 革命と安全保障』1-15 頁、2002 年 3 月
- 「視点 Point of View : 9・11 テロ事件から半年経って」日本国際問題研究所、JIIA Newsletter、No.116、2002 年 3 月
- 「日・中・韓 政治・外交関係の現況と今後の発展－『正常化』を越えて」『ヒューマン・セキュリティー』2001/2002、No.6、23-28 頁、2002 年 1 月
- 「アメリカとアジア－クリントン外交の遺産とその反動」『アジア動向年報・2001 年版』25-30 頁、2001 年 12 月
- 「『9.11 テロ事件』と日本」『阪大ニューズレター』第 14 号、2001 年 12 月、2001 年 12 月
- 「私の視点－国際貢献『正しい武力行使』論じる時」『朝日新聞』2001 年 8 月
- 「アジア太平洋地域安全保障の展開－ARF と CSCAP を中心として－」『国際問題』第 494 号、2001 年 5 月
- 「米国の経済制裁とビジネス」『米国におけるビジネスカルチャー』2001 年 4 月
- 「ディベート国連改革」『ディベートで学ぶ国際関係論』71-85 頁、2001 年 3 月
- 「アメリカとアジア－好調の経済、逡巡の外交」『アジア動向年報・2000 年版』17-24 頁、2000 年 12 月
- 「インタビュー構成 日米中三国関係はトラック 2 から 元中国大使 国廣道彦」『外交フォーラム』2000 年 11 月号、48-53 頁、2000 年 11 月
- 「紛争予防と日本の課題」『改革者』26-29 頁、2000 年 11 月
- 「国連の集団的安全保障制度の意義と課題」『国連研究』第 1 巻第 1 号、2000 年 4 月
- 「米国のコソボ介入－その道義性・合法性・正統性」『国際問題』第 479 号、2000 年 2 月
- 「アメリカとアジア－リーダーシップの行方」『アジア動向年報 1999 年版』18-24 頁、1999 年 12 月
- 「関与か干渉か－北東アジアにおける強制的安全保障の展望－」『21 世紀初頭における北東アジアの戦略環境－抑止と強制的安全保障』1999 年 6 月
- 「インタビュー構成 : PKO 高まる日本への期待 UNDOF 司令官キャメロン・ロス」『外交フォーラム』1999 年 6 月号、16-20 頁、1999 年 6 月
- 「紛争の潜在的要因とその解決枠組み」『新防衛論集』第 26 巻第 4 号、1999 年 3 月
- 「米国外交の原則と中東」『米国の対外政策と中東』（平成 10 年度外務省委託研究報告書）1999 年 3 月
- 「クリントン政権とアジア」『クリントン政権と議会』（平成 10 年度外務省委託研究報告書）1999 年 3 月
- 「米国の多国間主義とアジア太平洋戦略」『米国の対アジア太平洋安全保障戦略の将来方向と日米安保のあり方』（平成 10 年度外務省委託研究報告書）、1999 年 3 月

- “La aianza Japon-Estados Unidos y las nuevas directrices de defensa,” *MERIDIANO CERI*, No.22, Agosto 1998
- “The Role of U.S.-Japan Relations and Multilateral Security in Asia: A Japanese Perspective,” 『福岡大学総合研究所報』第204号、1998年3月
- 「米国政治と国連外交」『海外事情』1998年1月
- （渡邊昭夫と共著）「国連とアジア太平洋の安全保障—集団的安全保障と集団的自衛の間—」日本国際政治学会『国際政治』114号、1997年3月
- 「クリントン政権の国連政策」『国際問題』1997年2月
- 「米国の国連政策—そのレトリックと行動—」『外交時報』1996年4月号
- 「冷戦以前—巨頭たちの国連構想と大国の役割—」日本国際政治学会『国際政治』第109号、1995年5月
- 「米下院議長の政治的役割」『議会政治研究』第33号、1995年3月
- “Between Security and Morality: An Emerging Role of the United Nations for Peace,” *les cahiers de ifri*, No.12, June 1992
- 「湾岸戦争と主要国議会の対応：米国」『議会政治研究』第18号、1991年6月
- 「多国間レジームの形成とパフォーマンス—『南極レジーム』を例として—」日本国際政治学会『国際政治』第87号、1988年3月
- 書評
- 「書評：中満泉著『危機の現場に立つ』」『国連ジャーナル』2017年秋号
- 「書評／『聞き書 緒方貞子回顧録』」日本国際連合学会『国連研究』第18号、2017年7月
- 「書評：篠田英朗著『平和構築入門—その思想と方法を問いなおす』」『国連ジャーナル』2014秋号、50頁、2014年9月
- 「書評／福島安紀子『紛争と文化外交』」『国連ジャーナル』2012年秋号、53頁、2012年9月
- 「書評／渡辺 靖『文化と外交』」『国連ジャーナル』2012年春号、61頁、2012年3月
- 「Book Review 書評／富田浩司著『危機の指導者チャートル』、村田晃嗣著『レーガン』、和田修一著『米ソ首脳外交と冷戦の終結』」『外交』Vol.11、154-157頁、2012年1月
- 「アフリカの人々と『希望』を分かち合うために」月刊『公明』2011年11月号、30-35頁、2011年11月
- 「Book Review 書評／ジョセフ・S・ナイ著『スマート・パワー』、マーク・M・ローエンタール著『インテリジェンス機密から政策へ』、小林良樹著『インテリジェンスの基礎理論』」『外交』Vol.9、150-153頁、2011年9月
- 「書評／黒澤満『核軍縮入門』」『国連ジャーナル』2011年秋号、33頁、2011年9月
- 「Book Review 書評：柴山太著『日本再軍備への道—1945 - 1954年』、落合 雄彦編『アフリカの紛争解決と平和構築—シエラレオネの経験』、清水 奈名子著『冷戦後の国連安全保障体制と文民の保護—多主体間主義による規範的秩序の模索』」『外交』Vol.7、134-137頁
- 「書評／藪中三十二『国家の命運』」『国連ジャーナル』2011年春号、51頁、2011年3月
- 「@book cafe 書評：『アフリカから学ぶ』『アフガニスタンを想う』『軍事大国化するインド』」『外交』Vol.4、2010年12月
- 「@book cafe 書評：マーチン・ファン・クレフェルト『戦争文化論』／レザー・アスラン『仮想戦争』／榊原初枝『国際連盟』」『外交』Vol.2、172-175頁、2010年10月

- 「@book cafe 書評：柄谷行人『世界史の構造』／天児慧『アジア連合への道』／塩川伸明『冷戦終焉20年』『外交』2010年10月（創刊号）、152-155頁、2010年9月
- 「書評／山田哲也『国連が創る秩序』『国連ジャーナル』2010年秋号、49頁、2010年9月
- 「書評／明石康『「独裁者」との交渉術』『国連ジャーナル』2010年春号、2010年3月
- 「海外ニュースの読み方（連載3）」『国連ジャーナル』2010年春号、2010年3月
- 「書評／松浦博司著『国連安全保障理事会-その限界と可能性』『国連ジャーナル』2009年秋号、2009年9月
- 「書評／「大国主導の政治に挑む」カーン・ロス『独立外交官-国際政治の闇を知りつくした男の挑戦』『北海道新聞』2009年4月
- 「書評／日本平和学会編『国際機構と平和』『国連ジャーナル』2009年春号、58頁、2009年3月
- 「書評／上杉勇司著『変わりゆく国連PKOと紛争解決』『国連ジャーナル』2005年春号、43頁、2005年3月
- 「書評／田所昌幸・城山英明編著『国際機関と日本』『国連ジャーナル』新春特別号2005、67頁、2005年1月
- 「書評／篠田英朗著『平和構築と法の支配』『国際安全保障』第32巻2号、2004年9月
- 「書評フォーラム：コリン・エルマン他『国際関係研究へのアプローチ』、篠田英朗『平和構築と法の支配』、吉川元『国際関係論を超えて』『外交フォーラム』2004年2月号、96-97頁、2004年2月
- 「書評フォーラム：ロバート・エルドリッチ『沖縄問題の起源』、デービッド・ハルバースタム『静かなる戦争』（上・下）、松岡完・広瀬佳一・竹中佳彦『冷戦史-その起源・展開・終焉と日本』『外交フォーラム』2003年11月号
- 「書評フォーラム：峯陽一・畑中幸子『憎悪から和解へ-地域紛争を考える』、ロニー・ブローマン『人道援助、そのジレンマ』、菅波茂『医療和平-多国籍医師団アムダの人道支援』『外交フォーラム』2003年5月号、96-97頁、2003年5月
- 「書評フォーラム：緒方貞子『私の仕事』、デービッド・カピー他『レキシコン アジア太平洋安全保障対話』、猪口孝『地球政治の構想』『外交フォーラム』2003年2月号、96-97頁、2003年2月
- 「本のエッセンス：テロ後の『文明の衝突論』は サミュエル・ハンチントン『引き裂かれる世界』月刊『現代』2003年1月号、2003年1月

### 3. 主な活動・講演・口頭発表等（2020年8月～2022年10月）

2022年

10/04 Fifth Advisory Board Meeting for UNITAR Division for Prosperity（ジュネーブ）

09/26 講演：“On Value and Value Measurement,” “Valuing Value: How any organization can measure stakeholder value and ‘ethical capitalism,” Science Summit at the 77 United Nations General Assembly (Online)

09/22 第一生命2022年度第2回グループサステナビリティ推進委員会（オンライン）

09/17 企画・進行・総括：大阪こども未来国連会議（グランフロント大阪、大阪）

09/08 パネルディスカッション：The United Nations Security Council Reform: A new Approach to

- Reconstructing the International Order (グランドハイヤット東京、東京) 在京トルコ共和国大使館主催
- 08/10 基調講演:「新時代の人間の安全保障と持続可能な街と暮らし」大阪大学サイバースポーツコンプレックス (CSC) シンポジウム (大阪大学箕面キャンパス、大阪)
- 08/09 基調講演:“Transforming Our World: You as an Agent for Transformation & Innovative Enterprises for Sustainable Future,” UCL-Japan Youth Challenge (Online)
- 08/04 指導講評:2022 年度 Model UN@MOIS~さいたま市模擬国連大会 (さいたま市立大宮国際中等教育学校)
- 08/01 パネルディスカッション・モデレーター:長崎・広島両県主催サイトイベント@核兵器不拡散条約第 10 回締約国会議 (NPT RevCon10) (国連本部、ニューヨーク)
- 07/30 基調講演:“Japan in the Global Governance of Peacebuilding: Observations from the Human Security Approach in the Anthropocene,” Workshop on Japan in the Global Governance of Peacebuilding (Waseda University, Waseda, Tokyo)
- 07/27 基調提起:「ゴール 16『平和と安全・安心社会の実現』について」SDGs 実施指針改定に向けたパートナーシップ会議 (SDGs 円卓会議主催) (オンライン)
- 07/24 招待講演:「世界をもっと知ろう~New Discovery~」公益社団法人吹田青年会議所
- 07/13 パネルディスカッション:UNDP/JICA 特別フォーラム「人間の安全保障とアフリカの挑戦—TICAD8 に向けて」(オンライン・セミナー)
- 07/05 モデレーター:国連持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム (HLPF2022) サイドイベント “The 2030 Agenda and global challenges interconnections: reflection on nuclear weapon and SDG implementation” (国連本部、ニューヨーク)
- 06/29 第一生命 2022 年度第 1 回グループサステナビリティ推進委員会 (オンライン)
- 06/18 モデレーター:核兵器禁止条約 (TPNW) 第 1 回締約国会議市民フォーラム (ウィーン)
- 06/16 モデレーター:政府拉致問題対策本部主催 拉致問題に関するオンライン国連シンポジウム (東京国際フォーラム)
- 06/11 パネルディスカッション:日本国際連合学会第 23 回 (2022 年度) 研究大会パネルディスカッション「試練を迎える国連」(オンライン)
- 06/09 岸田総理主催朝食会 (核軍縮問題に関する意見交換) (帝国ホテル、東京)
- 06/06 基調講演:国際宗教同志会創設 75 周年記念総会 (ホテルニューオータニ、大阪)
- 05/30 共同議長として議事進行:核軍縮と持続可能な未来に関するワーキング・グループ令和 4 年度 第 1 回会合 (オンライン)
- 05/23 議長として議事進行:大阪府「SDGs ビジネス創出支援事業」事業者選定委員会 (大阪府庁)
- 05/18 有識者タスクフォース委員:政府「グローバルヘルス戦略」策定 (内閣府、東京)
- 05/18 モデレーター:『国際問題』ウェビナー「国家建設の行方」(オンライン)
- 05/11 特別講義:国際交流基金関西国際センター「日本の外交と世界」
- 04/27 審査員:「MUFG ICJ ESG アクセラレーター」
- 04/10 コメンテーター:2022 年度高校模擬国連国際大会への第 16 回日本代表団派遣支援事業・政策発表会
- 03/26 基調講演:第 7 回国際公共ワークショップ
- 03/26 コミュニケーション・サポート/第 1 回こども未来国連会議 (small worlds Tokyo、東京)

- 03/12 講演：「日本と世界の安全保障と国連」（芦谷公民館）
- 02/24 Lecture：Chatham House-Japan House Webiner “Japan-UK Cooperation in Africa: Looking ahead at TICAD8”
- 02/18 開会あいさつ：上智大学「終わらない人道危機と『保護する責任』：日本には何ができるのか」
- 02/12 講演：「地球規模課題とSDGs」（芦屋公民館）
- 02/08 報告：第60回関西財界セミナー（オンライン）
- 01/29 意見交換：アンゲラ・ケーン元軍縮上級代表との意見交換
- 01/22 講演：「国連における政治と外交」（芦屋公民館）
- 01/21 司会：ESGインテグレーション研究フォーラム「気候変動と科学とESG」
- 2021年
- 12/27 表敬：岸田総理表敬（総理官邸）
- 12/11 モデレーター：政府主催「国際シンポジウム～グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携～」
- 12/09 講演：「SDGsで身に付ける力を系統的に構築していく学校教育をめざして」（藤井寺市立藤井寺中学校）
- 12/06 講演：「ポストコロナの世界秩序における国連と日本」（日本国際連合協会京都本部）
- 11/30 パネルディスカッション：第13回関西安全保障セミナー
- 11/29 Fourth Advisory Board Meeting for UNITAR Division for Prosperity
- 10/12 パネルディスカッション：「韓半島を巡る国際情勢の展望」（駐大阪韓国総領事館）
- 09/29 審査員：ESGアクセラレータープログラム「ICJ ESGアクセラレーター2021」
- 09/24 講演：「SDGsと未来—子ども未来国連の取り組みから」SDGsテーマ配信型フォーラム
- 09/08 講演：オンライン・ブックレビュー『国連安保理改革を考える—正統性、実効性、代表制からの新たな視座』
- 08/28 パネルディスカッション：「岐路に立つアフガニスタン」日本国際平和構築協会（オンライン）
- 08/21 基調講演：「SDGsと人間の安全保障～日本外交の視点から～」Future Global Leadership Camp 2021
- 07/12 パネルディスカッション：5th LAS-JAPAN-UNDP Roundtable “An opportunity for ‘SDG Push’ - Post-COVID Recovery in the Arab States Region with a Focus on Sustainable Reconstruction”
- 06/28 モデレーター：政府国連シンポジウム「グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携」
- 06/24 パネルディスカッション：トルクメニスタンと「平和と信頼の国際年」ラウンドテーブル（オンライン）岡山大学・トルクメニスタン外務省附属国際関係研究所共催
- 06/11 国連開発計画（UNDP）セミナー：「人間開発と自己実現のための新世代の人間の安全保障」（オンライン）
- 05/29 講演：「ミャンマーキーデータ 専門家と読み解く、現地の声—日本から何ができるのか—」ミャンマービジネスに関わる日本人有志主催
- 05/28 問題提起：「ミャンマーでの平和構築の道筋に関する意見交換会」（日本国際平和構築協会・京都国際平和構築センター）、招待有り
- 03/27 コミュニケーション・サポート：第1回こども未来国連会議

- 03/19 パネルディスカッション：BEYOND 2020 NEXT FORUM 総合セッションーSDGs ピースコミュニケーションー
- 03/15 基調講演：内閣府国際平和協力本部事務局オンライン・シンポジウム「コロナ禍を受けた国際平和協力の現状と今後の在り方ー人間の安全保障の理念に基づく持続可能な国際社会の構築に向けてー」
- 03/15 ゲスト講義：国際基督教大学「外交・国際公務員養成プログラム」
- 03/05 基調講演：岡山大学シンポジウム「SGU×SDGs Beyond2030」（岡山大学）
- 01/23 報告：「国連と SDGs と私たち」第 27 回国連史コロキアム（オンライン）
- 01/19 笹川平和財団部内研修
- 01/10 基調講演：「模擬国連の意義とあゆみ～緒方貞子さんからの系譜～」第 4 回全国高校教育模擬国連大会、全国中高教育模擬国連研究会

#### 4. 主な活動記録（2017 年 8 月～2020 年 7 月、国連日本政府代表部在勤期）

2020

- 07/16 Closing remarks, IPI-UNTFHS Workshop, “From Local to Global: Building on What Works to Accelerate Progress on the 2030 Agenda,” Online
- 07/14 Statement at UNDP online event “To Accelerate Progress, We Need to be Fast and Curious”, as part of the High-Level Political Forum on Sustainable Development, The United Nations, Online
- 06/30 Guest Speech, the 27th World Yoga Festival, Online
- 06/29 Statement, 2020 Annual Session of the UNICEF Executive Board, Online
- 06/29 Statement, Partnership in Action on STI for SDGs Roadmaps, Online
- 06/21 Chief Guest Speech, the 6th International Day of Yoga Event by World Yoga Community, Online
- 06/20 ビデオ・メッセージ、グローバル・クラスルーム日本委員会：第 14 回高校模擬国連日本代表団オンライン最終発表会
- 06/19 Intervention at Meeting of the Group of Friends on Children and the SDGs, Online
- 06/10 Statement at The Food Security and Nutrition Friends Group, Online
- 06/09 Statement at SIDS Partnership Framework Steering Committee, Online
- 06/08 Statement at the Virtual Launch of Group of Friends to Combat Marine Plastic Pollution on World Oceans Day, Online
- 06/04 Intervention at UNDP Executive Board Meeting, Online
- 06/04 Intervention at WHO Technical Briefing on Research and Development on COVID-19: Vaccines and Therapeutics, Online
- 05/20 Statement at AFRICA DIALOGUE SERIES 2020: A global platform focusing on current and emerging African issues and promoting high-level advocacy for Africa’s peace, security and development, Online
- 05/15 Statement at Virtual Meeting on “Sustainable Development Goals in the Era of COVID-19: The role of Science, technology and innovation,” Online



- 05/14 Statement at A cross regional exchange on UNDS in preparation of the ECOSOC Operational Activities Segment 2020, Online
- 05/13 Statement at the Group of Friends of Sustainable Energy virtual meeting on “How We Can Mobilize Financing for the Energy Transition?” Online
- 05/12 Statement at Group of Friends of LDCs Virtual Meeting, Online
- 04/30 Statement at the Group of Friends of Water meeting, Online
- 04/27 Statement at the Group of Friends on Children and the SDG s, Online
- 04/27 Statement at the WHO Technical Briefing on COVID19, Online
- 04/24 Remarks at Briefing from UNDP RBA on COVID-19 response in Africa, Online
- 04/10 Statement at the Group of Friends of SDG Financing, Online
- 04/09 Statement at Plenary briefing by the Deputy Secretary-General to all Member States Focusing on the United Nations Development System's support to the socio-economic response to COVID-19, Online
- 03/06 Remarks at the UNICEF meeting on Climate Action and Child Participation, UNICEF
- 02/13 Remarks at the Ambassadorial-level Lunch Briefing on ITU WRC and Telecom World, The United Nations
- 02/12 Statement at the Group of Friends of Food Security and Nutrition Meeting, The United Nations
- 02/11 Statement at the 2020 First Regular Session of the UNICEF Executive Board, The United Nations
- 02/05 Statement at the Annual Session of the UNDP/UNFPA/UNOPS Executive Board: UNFPA Segment, The United Nations
- 02/04 Statement at the First Regular Session of the 2020 Executive Board of UNDP/UNFPA/UNOPS: UNDP Segment, The United Nations
- 02/03 Statement at the Group of Friends of Climate Change Meeting, The United Nations
- 01/24 Statement on the occasion of the International Day of Education 2020, The United Nations
- 2019
- 12/17 “Indigenous Languages Matter for Peace Building, Sustainable Development and Reconciliation: A Case of Japan” at High-Level Event for the Closing of the 2019 International Year of Indigenous Language, The United Nations
- 11/26 Opening Speech for the TICAD7 Debriefing: Advancing Africa’s Development through People, Technology and Innovation, The United Nations
- 10/11 “Positioning Adult Vaccination” at the United Nations International Day of Older Persons (UN IDOP) side event, The United Nations
- 10/10 “Global Health and Foreign Policy” at the 14th Plenary Meeting of the United Nations General Assembly, Item 126, The United Nations
- 10/08 “On Agenda Item 135: Proposed Programme Budget for 2020 and Agenda Item 136: Proposed Programme Plan for 2020” at the Main Part of the 74th Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations

- 10/07 “On Organization of Work” at the Main Part of the 74th Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 09/22 “Multisectoral Action to Take Forward the Commitments of the UN High-Level Meeting on Tuberculosis,” The United Nations
- 09/04 “Japan and UNDP” at the Annual Session of the 2019 Executive Board of UNDP/UNFPA/UNOPS: UNDP Segment, The United Nations
- 07/30 Moderator, Japan SDG Action Forum, UNDP/UNU, Tokyo
- 07/17 Welcome Remark, Integrated and Inclusive Approaches to the SDGs in Asia and Globally: Coming Together around Shared Solutions, Institute for Global Environmental Strategies (IGES)/Japan Society ([https://archive.iges.or.jp/files/hlpf/pdf/20190717\\_Agenda.pdf](https://archive.iges.or.jp/files/hlpf/pdf/20190717_Agenda.pdf))
- 07/12 “On Science, Technology and Innovation for SDGs Roadmaps” at the High-level Reception: “Science, Technology and Innovation for SDGs Roadmaps,” The United Nations
- 06/11 “Japan and UNICEF” at the 2019 Annual Session of the UNICEF Executive Board
- 06/10 “‘Society 5.0’ and Digital Cooperation” at the United Nations Secretary-General’s High-Level Panel on Digital Cooperation, The United Nations
- 06/09 Opening Remarks, “An interactive Forum Highlighting Japanese Initiatives Promoting The Sustainable Development Goals,” The United Nations
- 06/06 An interactive Forum Highlighting Japanese Initiatives Promoting The Sustainable Development Goals, The United Nations  
(<https://static1.squarespace.com/static/547e1c72e4b02f3861ce8af3/t/5cf685cb6248190001a34711/1559659979227/2019+Forum+program+page+or+side1.pdf>)
- 06/04 “On Agenda item 138: Improving the financial situation of the United Nations” at Second resumed session of the 73th Session of Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 06/03 “MOPAN and its Assessment of UNFPA” at the 2017-2018 MOPAN Assessment of UNFPA: Launch of the Report and Discussion on Findings, The United Nations
- 06/03 “Japan and UNFPA” at the Annual Session of the UNDP/UNFPA/UNOPS Executive Board: UNFPA Segment, The United Nations
- 05/23 “Contributing to the Improvement of Energy Access for All” at the High-Level Dialogue on the implementation of the United Nations Decade of Sustainable Energy for All 2014-2024: A Mid-Point Review, The United Nations
- 05/22 “Shared Responsibility and the Humanitarian and Development Nexus: Financing for Transitions” at the Africa Dialogue Series 2019, African Union New York Office
- 04/30 “Harnessing the Private Sector and Innovation to Achieve Universal Health Coverage” at the UHC briefing co-hosted by Japan, the United Nations Foundation and partners on “Harnessing the Private Sector and Innovation to Achieve Universal Health Coverage,” The United Nations
- 04/17 “Sustainable Financing for Universal Health Coverage” at the Financing for Development Forum Side Event on “Sustainable Financing for Universal Health Coverage,” The United Nations

- 04/16 “Innovative Financing for Sustainable Development” at the Side-event in the margins of the Financing for Development Forum on “Innovative Financing for Sustainable Development: Scale and Impact,” The United Nations
- 04/11 “Introducing ‘Society 5.0’ and ‘STI for SDGs Roadmaps’” at the 19th Infopoverty World Conference, OCCAM, The United Nations
- 04/11 “Japan’s Efforts for Empowerment of Next Generations and Women in the Arab Region” at the ECOSOC Youth Forum 2019 Side Event on “2030 Agenda, Innovation and Social entrepreneurship in the Arab Region,” The United Nations
- 03/29 “On Circulating and Ecological Economies - Localizing the SDGs” at the High-level Event on “Climate and Sustainable Development for ALL,” The United Nations
- 02/28 “Human Security at 25” at the High-level Event on “Human Security at 25,” The United Nations
- 02/21 “Supporting Persons with Rare Diseases under Universal Health Coverage” at the Rare Disease Day Policy Event, The United Nations
- 2018
- 12/07 “Blockchain and Society 5.0” at The Humanitarian Aid Blockchain Summit, Fordham University, New York (<https://news.fordham.edu/politics-and-society/blockchain-possibilities-highlighted-at-humanitarian-aid-conference/>)
- 12/06 “Investing in Health to Achieve the Sustainable Development Goals” at the Expert briefing session on “Investing in Health to Achieve the Sustainable Development Goals,” The United Nations
- 11/27 “On Human Security Approach” at the High-Level Event on the Multi-Partner Human Security Trust Fund for the Aral Sea Region: Advancing Regional and International Cooperation towards Comprehensive Strategies in Support of Sustainable Development, The United Nations
- 10/19 “New Partnership for Africa’s Development” at the 23rd Plenary Meeting: New Partnership for Africa’s Development: Progress in Implementation and International Support, The United Nations
- 10/09 “On Organization of Work” at Main Part of the 73rd Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 09/26 Time to Act on Global Mental Health - Building Momentum on Mental Health in the SDG Era, The United Nations (<https://www.unitedgmh.org/news/unga>)
- 09/19 Keynote speech on Japan’s Society5.0 at the Event on Investment and Partnership for the Global Goals, Foundation for the Support of the United Nations, The United Nations
- 09/10 “Japan and UN-Women” at the Second Regular Session of the Executive Board of UN-Women, The United Nations
- 07/19 “Leveraging New Technologies for the SDGs” at 2018 ECOSOC High-Level Segment Thematic Dialogue “Leveraging New Technologies for the SDGs,” The United Nations
- 07/10 “Report on the STI Forum 2018” at the United Nations High-level Political Forum on

- Sustainable Development (HLPF), The United Nations
- 06/25 “Japan on the Responsibility to Protect” at the General Debate at the United Nations General Assembly on the Responsibility to Protect, The United Nations
- 06/13 “Implementing the Convention in Japan” at the 11th Session of the Conference of States Parties to the Convention on the Rights of Persons with Disabilities (CRPD), The United Nations
- 06/07 Opening Remarks, G-STIC 2018 Special Event, The United Nations  
(<https://www.gstic.org/2018-sti-forum/session-1/>)
- 06/05-06 Co-Chair, the Multi-Stakeholder Forum on Science, Technology, and Innovation for the Sustainable Development Goals (STI Forum), The United Nations
- 06/04 Opening Remarks, Global Solutions Summit 2018, The United Nations  
(<http://www.globalsolutionssummit.com/gss-program.html>)
- 05/07 “Ending and Preventing Grave Violations against Children through Action Plans: Best Practices from African States” at the United Nations Security Council Arria Formula meeting on “Ending and Preventing Grave Violations against Children through Action Plans: Best Practices from African States,” The United Nations
- 05/07 “On Organization of Work” at The Second Resumed Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 05/03 “Statement as a Co-Chair on the STI Forum” at the Second Briefing to the Member States on the Multi-Stakeholder Forum on Science, Technology, and Innovation for the Sustainable Development Goals (STI Forum), The United Nations
- 05/01 “Japan and Buddhism” at the Special Commemorative Event on the Occasion of the International Day of Vesak, The United Nations
- 04/26 Opening Remarks, “Amplifying Women’s Voices Towards Sustainable Peace” during the High-Level Meeting on Peacebuilding and Sustaining Peace, at Women CSO-Led Panel Discussion, The United Nations (<https://gnwp.org/wp-content/uploads/Amb.-Hoshinos-Sustaining-Peace-opening-remarks.pdf>)
- 04/23 “Youth, Peace and Security” at the Open Debate of the United Nations Security Council on “Youth, Peace and Security,” The United Nations
- 04/16 “Preventing Sexual Violence with Human Security Approach” at the Open Debate of the United Nations Security Council on “Sexual Violence in Conflict,” The United Nations
- 04/13 “The Role of the Science and Technology in Implementing the SDGs” at the 18th Infopoverty World Conference, OCCAM, The United Nations
- 04/06 “Promoting UHC as Human Security” at the World Health Day 2018 Luncheon Event: 70th Anniversary on UHC, The United Nations
- 03/21 “Cosponsoring 2018 World Down Syndrome Day Conference” at the Event “2018 World Down Syndrome Day Conference,” The United Nations
- 02/13 “Japan and UN-Women” at the First Regular Session of the Executive Board of UN-Women, The United Nations
- 01/29 “Statement as a Co-Chair on the STI Forum” at the First Briefing to the Member States

on the Multi-Stakeholder Forum on Science, Technology, and Innovation for the Sustainable Development Goals (STI Forum), The United Nations

2017

- 12/04 “On Management Reform” at the Meeting of the Main Part of the 72nd Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 11/30 “Destruction and Trafficking of Cultural Heritage by Terrorist Groups and in Situations of Armed Conflict” at the United Nations Security Council Briefing on the Destruction and Trafficking of Cultural Heritage by Terrorist Groups and in Situations of Armed Conflict, The United Nations
- 11/13 “Building a Peaceful and Better World through Sport and the Olympic Ideal” at the Agenda Item 11 of the United Nations General Assembly “Building a Peaceful and Better World Through Sport and the Olympic Ideal,” The United Nations
- 10/11 “On Agenda Item 136: Proposed Programme Budget: biennium 2018-2019” at the Main Part of the 72nd Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 10/04 “On Organization of Work” at the Main Part of the 72nd Session of the Fifth Committee of the United Nations General Assembly, The United Nations
- 09/28 “Fighting against Trafficking in Persons” at the High-level Meeting of the United Nations General Assembly on the Appraisal of the United Nations Global Plan of Action to Combat Trafficking in Persons, The United Nations
- 09/07 “Japan and UNFPA” at the 2017 Second Regular Session of the UNDP/UNFPA/UNOPS Executive Board UNFPA Segment

## 5. 主な活動記録（2008年～2017年7月、大阪大学副学長期を含む）

2017年

- 07/08 学会主催校代表（大阪大学）：日本国際連合学会 2017年度研究大会
- 06/28 シンポジウム・パネルディスカッション（内閣府国際平和協力本部事務局/東京）：PKO 法制定・施行 25周年記念シンポジウム（東京）
- 06/14 学会招待講演（ACUNS/ソウル）：2017 Annual Meeting – Revitalizing the United Nations for Human Rights, Peace and Development
- 06/09 国際会議招待講演（神戸）：The Asian Conference on the Social Sciences 2017
- 05/30 来訪者意見交換（RUSI）：ピーター・リケッツ卿（The Lord Peter Ricketts GCMG GCVO）元英外務事務次官
- 05/29 研究報告（国際平和協力研究会/早稲田大学）：「日本の国際平和協力について」
- 05/26 来訪者対応・意見交換（大阪大学）：レオン・マラゾグ（Leon Malazogu）駐日コソボ大使
- 05/25 講演会主催・モデレーター（大阪大学）：ウィルフリド・V・ヴィラコルタ（Wilfrido V. Villacorta）元フィリピン ASEAN 常駐代表（デ・ラ・サール大学名誉教授）"ASEAN and Its Role in the Future of East Asia"（英語）

- 05/24 講演会主催・モデレーター (大阪大学) : 千玄室本学客員教授 (国連ユネスコ親善大使、茶道裏千家前家元) 「茶の精神と平和」
- 04/28 招待講演 (日本国際連合協会関西本部/大阪) : 「岐路に立つ国際社会とグテーレス新国連事務総長の挑戦」
- 04/24 講演会主催・モデレーター (大阪大学) : ショバナ・ラダクリシュナ (Shobhana Radhakrishna) 女史 (倫理的なコーポレート・ガバナンスのためのガンディー・フォーラム代表) 「社会を変えるマハトマ・ガンディーのリーダーシップ: その現代世界における意義とは」 (英語) (駐大阪インド総領事館案件・2017 日印友好交流年事業)
- 04/23 高大接続・パネルディスカッション (大阪大学) : 第 3 回国際公共政策コンファレンス 待兼山会議
- 04/21 国際シンポジウム・モデレーター (大阪トルコ日本協会/大阪) : 「グローバル社会と教育」
- 04/20 講演会主催・モデレーター (大阪大学) : ジェームズ・ショフ (James Schoff) カーネギー国際平和財団シニア・フェロー "Adapting the US-Japan Alliance to Geopolitical Change in Asia" (英語)
- 04/12 意見交換 (オランダ・ハーグ) : 小和田恒国際司法裁判所判事、猪俣弘司駐蘭日本大使ほか
- 04/12 大学間交流 (ライデン大学/オランダ・ライデン) : ブライス・ウェークフィールド (Bryce Wakefield) 准教授 (教え子)
- 04/02 講演会・対談 (アート・オブ・リビング/大阪) : シュリ・シュリ・ラヴィ・シャンカール (H.H. Sri Sri Ravi Shankar) 「平和と共生の未来ビジョン」 (駐大阪インド総領事館案件・2017 日印友好交流年事業) (日英通訳)
- 03/28 招待講演 (日本国際連合協会京都本部/京都) : 「トランプ米新政権と国連」
- 03/24 講演会主催・モデレーター (大阪大学) : サム・ドース (Sam Daws) オックスフォード大学国連ガバナンス改革プロジェクト代表
- 03/17 来訪者対応・意見交換 (外務省案件/大阪) : ダン・スミス (Dan Smith) スtockホルム国際平和研究所 (SIPRI) 所長
- 03/15 学界講師代表挨拶 (関西経済同友会) サイバー適塾第 15 期修了・第 16 期入塾式
- 03/08 来訪者対応・大学間交流 (コッパーベルト大学/ザンビア) : ンゴマ (Naison Ngoma) 副学長
- 03/07 参考人意見陳述 (広島県議会 予算特別委員会/広島)
- 02/20 海外フィールド調査 (笹川平和財団/フィリピン・ダバオ) : ミンダナオ和平プロセス
- 02/14 視察・学生海外派遣事業 (大阪大学/インドネシア) : ガジャマダ大学との合同プログラム
- 02/13 研修生受け入れ (大阪大学) : ラムカムヘーン大学 (タイ) MBA コース研修生一行対象 「産学協創とダイナミックなイノベーションについて」
- 02/10 キャリア支援主催 (大阪大学/シンガポール) : ASEAN キャリアフェア 2017
- 02/03 研修生受け入れ (大阪大学) : 国際交流基金関西国際センター 外交官・公務員日本語研修プログラム研修生一行対象 「現代日本の対外政策と国際関係」
- 01/23 大学間交流・超短期留学生受け入れ (大阪大学) : 慶熙大学校 (韓国) 国際関係学部生ら一行
- 01/16 国際シンポジウム・中東包括共生秩序科研 研究代表 (大阪大学) : "Towards a more inclusive international order in the Middle East: Conversing Macro and Micro Perspectives"
- 01/15 国際シンポジウム・共同研究成果発表 (大阪大学) : 「保護する責任の 15 年と日本 共有する人道危機に取り組む」

01/06 意見交換（ニューヨーク）：国連日本政府代表部、国連本部関係者

## 2016年

- 12/19 式典参加（日本政府）：国連加盟 60 周年記念式典（東京）
- 12/17 講演会主催（環境省案件/大阪大学）：水俣条約 3 周年記念 特別公開ゼミ
- 12/16 国際シンポジウム・モデレーター兼総括講演（防衛省 国際平和協力センター案件）：第 6 回 国際平和と安全シンポジウム「現代 PKO の諸課題と今後」
- 12/12 国際セミナー・研究報告（国際協力機構（JICA）案件）：「人道危機をどう乗り越えるか？—人道と開発のリンケージからの提案—」（英語）
- 12/10 国際シンポジウム・モデレーター（内閣府案件）：平成 28 年度 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 政府主催国際シンポジウム「拉致問題をはじめとする北朝鮮の人権侵害に対する責任追及のための国際連携～一日も早い拉致被害者の救出に向けて～」
- 12/09 公開セミナー・モデレーター（平和安全保障研究所案件）：第 9 回関西安全保障セミナー
- 12/08 学会主催校代表・挨拶・コメンテーター（大阪大学）：The Asian Political and International Studies Association (APISA)
- 12/03 学会主催校代表・挨拶・コメンテーター（大阪大学）：国際安全保障学会 2016 年度研究大会
- 12/02 公開セミナー主催（平和協力研究会案件）：「トランプ政権の対外政策と日本の国際平和協力のあり方を考える」
- 11/29 国際会議・コメンテーター（上海外国語大学/上海）：First Asian Forum for Deans of Journalism & Communication 2016
- 11/28 招待講義（慶熙大学校/ソウル）：“Japan's Contemporary Foreign Policies in the Globalized World”
- 11/26 基調講演（神戸市外国語大学）：「NCCA 模擬国連世界大会」“World Order and I”
- 11/13 公開セミナー・対談（沖縄青年会議所/那覇）：「日米地位協定フォーラム」
- 11/12 主催者代表・挨拶（グローバルクラスルーム日本委員会）：全日本高校模擬国連大会
- 11/02 フィールド調査・歴史遺産と未来共生科研調査（大阪大学）：キプロス情勢
- 10/29 研究会主催・科研研究代表（北海道大学）：「歴史遺産と未来共生」
- 10/24 招待講演（日本国際連合協会北海道本部/札幌）：国連デー講演会「国連と日本の 60 年—未来共生社会の実現を目指して」
- 10/16 公開セミナー主催（駐大阪アメリカ総領事館案件）：“Next Generation Views of the U.S.-Japan Alliance: Looking Over the Horizon”企画・運営（大阪）
- 09/29 招待コメント（アゼルバイジャン政府案件）：Baku International Humanitarian Forum
- 09/24 審査委員長（外務省案件）：国際問題プレゼンテーションコンテスト「私の提言～今後の国連のあるべき姿に向けた日本の取組」（東京）
- 07/28 国際シンポジウム主催・基調講演（大阪大学）：大阪国際フォーラム「『スマート・バラシニング』は可能か？—東アジアの国際秩序の行方—」
- 07/22 招待講演（中央電気倶楽部/大阪）：「国際平和と日本の国連外交」
- 07/21 公開セミナー共催（駐大阪英国総領事館/大阪）：「産・官・学・民のコラボレーションから起こす SOCIAL INNOVATION」
- 07/21 公開セミナー共催・歓迎挨拶（笹川平和財団/大阪）：2015 年ノーベル平和賞受賞 チュニジ

- ア国民対話カルテット「対話のパワー 市民社会とボトムアップの民主主義構築」
- 07/20 公開セミナー共催・コメンテーター（笹川平和財団/東京）：2015 年ノーベル平和賞受賞 チュニジア国民対話カルテット「対話のパワー 市民社会とボトムアップの民主主義構築」
- 06/26 大学間交流（クアラルンプール）：環太平洋研究大学連合（APRU）年次総会
- 06/25 イベント支援（大阪大学・インド人留学生会）：国際ヨガ DAY イベント
- 06/19 大学間交流（香港）：香港科学技術大学創立 25 周年式典
- 06/02 講演会主催（大阪大学）：ジャイトリー財務大臣来日記念講演会（インド政府案件）（英語）
- 05/19 パネルディスカッション（国連大学案件）：The G7–United Nations Partnership to Meet Global Challenges
- 05/11 大学間交流（台南）：日台大学学長会議
- 05/06 大学間交流（北京）：日中大学学長フォーラム
- 04/26 大学間交流（香港）：環太平洋研究大学連合（APRU）APWiL Policy Round Table on Gender Equity
- 04/22 招待講演（香港）：香港バプチスト大学 “On Transition”
- 04/14 来訪者対応・大学間交流（大阪大学）：仏 Ecole Normale Supérieure de Cachan (ENS Cachan) 研究担当副学長一行
- 04/11 来訪者対応・大学間交流（大阪大学）：シンガポール経営大学（SMU）副学長一行
- 04/06 大学間交流（上海）：上海交通大学創立 120 周年式典
- 04/04 来訪者対応・大学間交流（大阪大学）：インドネシア高等教育代表団
- 03/31 参考人意見陳述（外務省案件）：第 14 回 G7 平和維持・平和構築専門家会合（東京）（英語）
- 03/20 公開セミナー（大阪大学）：「大阪大学の国際交流の発展を目指して：現状と将来」
- 03/07-13 政策広報・メディア対応（外務省案件）：ポルトガル・スペイン（英語）
- 03/04 国際シンポジウム・閉会挨拶（大阪大学）：国際産学連携シンポジウム 「ベトナム・ネクスト メコンデルタを開く日本の技術」
- 02/22 国際シンポジウム・コメント（英国王立国際問題研究所案件）：ASEAN’s Regional Role and Relations with Japan
- 02/17 参考人意見陳述（参議院案件）：国際経済・外交に関する調査会「国連改革を含む我が国国連外交の現状と課題」（東京）
- 01/29 学会主催校代表・挨拶（大阪大学）：平成 27 年度グローバル人材育成教育学会 関西支部会
- 01/25 来訪者受け入れ（大阪大学）：タイ・スワンクラーブ高校生徒一行
- 01/18 研修生受け入れ（大阪大学）：ラムカムヘーン大学（タイ）MBA コース研修生一行対象「産学協創とダイナミックなイノベーションについて」

## 2015 年

- 12/17 大学間交流・招待講演（インドネシア）：アイルランガ大学 Workshop of Internationalization
- 12/15 国際ワークショップ・主催者挨拶（大阪大学）：Workshop on “Creating Global History from Southeast Asian Perspectives”(JSPS 博士課程教育リーディングプログラム)
- 12/10 国際シンポジウム・主催者挨拶（大阪大学）：“Nanophotonics in Asia 2015”
- 12/08 大学間交流・国際シンポジウム・主催者挨拶（大阪大学）UCL Grand Challenges
- 11/25 講演会主催・モデレーター（大阪大学）：エドワード・モーティマー（Edward Mortimer）



元国連事務総長スピーチライター

- 11/20 国際シンポジウム・モデレーター兼総括講演（防衛省 国際平和協力センター案件）：第5回国際平和安全シンポジウム「早期の平和構築・人道支援と平和維持活動の協働は可能か？～持続可能な平和のために～」（東京）
- 11/14 主催者代表・挨拶（グローバルクラスルーム日本委員会）：全日本高校模擬国連大会
- 11/07 海外同窓会出席・挨拶（大阪大学）：タイ同窓会
- 11/03 保護者対応・講演（大阪大学）：大阪大学保護者の集い「『本物』志向のグローバル体験のススメ」
- 10/30 大学間協定・挨拶（大阪大学）：環太平洋研究大学連盟（APRU）グローバル・ヘルス
- 10/28 大学間交流・出席（九州大学）：日中大学学長会議
- 10/25 招待講演・パネリスト（外務省・日本国際連合協会京都本部）：国連創設70周年2015国連デー記念シンポジウム「日本と国連～京都から世界平和を願って～」（京都）
- 10/23 大学間交流・挨拶（大阪大学）：RENKEI Ageing Workshop
- 10/18 国際シンポジウム主催（大阪大学 X スタンフォード・ソーシャル・イノベーション・レビュー）「ソーシャル・イノベーションが拓く未来」
- 10/17 学内行事・挨拶（大阪大学）：大阪大学デンマーク語専攻・学科50周年記念式典
- 10/16 出前講義（国際交流基金関西国際交流センター）：“‘Smart Balancing’ or Japan’s contemporary foreign and security policies”
- 10/13 招待講演・パネルディスカッション（外務省・在ベトナム日本国大使館・越外交学院）：“Nexus Between Japan’s Path of Postwar 70 Years and Vietnam’s International Integration”
- 10/08 大学間交流（慶應義塾大学）：第2回日英教育協議会
- 10/06 大学間交流（京都国際会議場）：STSフォーラム大学学長ランチ
- 10/05 来訪者対応（大阪大学）：ブルキナファソ科学研究イノベーション大臣
- 10/05 来訪者対応・大学間交流（大阪大学）：ロシア・スコルコヴォ大学学長
- 10/03 大学間交流（在スウェーデン大使館）：第1回日スウェーデン大学学長会議
- 09/27 大学間交流（ベトナム・ダナン）：日越大学学長会議
- 09/10 大学間交流・代表団員（外務省・文部科学省、モスクワ）第12回日露科学技術委員会
- 09/08 来訪者対応・意見交換（外務省）：リュックトフト第70回国連総会議長（東京）
- 08/20 来訪者対応・研修（駐大阪インドネシア総領事館案件）：アチェ州議会議員団に対する研修
- 07/22 招待講演（英国国立国際問題研究所）：“‘Smart balancing’ and the future of international order in East Asia”
- 06/28 大学間交流・年次総会主催校（大阪大学）：環太平洋研究大学連盟（APRU）年次総会（大阪）
- 06/28 来訪者対応・大学間交流（大阪大学）：豪ニューサウスウェールズ大学語学研究センター長
- 06/20 国際会議コーディネーター兼モデレーター（外務省案件）：「平和構築・国民和解・民主化に関するハイレベルセミナー」<安倍総理、岸田外相ご出席>（東京）
- 06/10 講演会主催・モデレーター（大阪大学）：アンゲラ・ケイン国連軍縮上級代表
- 06/06 学会・企画・モデレーター（日本国際連合学会）：日本国際連合学会2015年研究大会（東京）
- 06/01 講演（沖縄平和協力センター）：「国際秩序の傾向と安倍政権下の日本の安全保障政策」
- 05/26 国際セミナー・モデレーター（大阪大学・駐日リトアニア大使館）：“Japan-Lithuania seminar on R&D potential and innovations in Life Sciences”（大阪）

- 05/25 大学間交流・国際会議企画運営（大阪大学 X 高麗大学）：International Joint Roundtable on Inequality, Crisis and the United Nations
- 04/29 大学間交流・意見交換（大阪大学）：タイ・マヒドン大学社会科学部一行（大阪）
- 04/07 原稿執筆（外務省案件）：平成 27 年度版外交青書（外交青書 2015）特設コラム「安保理改革」
- 03/28 大学間交流・意見交換（大阪大学）：カリフォルニア大学ロサンゼルス校一行（大阪）
- 03/26 大学間交流・現地視察（大阪大学）：大阪大学東アジアセンター（上海）、大学訪問
- 03/20 大学間交流・意見交換（駐日アメリカ大使館）：“TeamUp to Create a 21st Century Workforce”（東京）
- 03/16 招待パネリスト（外務省・国連大学案件）：「国連創設 70 周年記念シンポジウム」パネリスト <安倍総理、潘基文国連事務総長ご出席>（東京）
- 03/11 大学間交流・現地視察（カタール）：カタール大学その他
- 03/08 大学間交流・現地視察（オランダ）：大阪大学欧州オフィス（蘭・グローニンゲン）
- 02/12 支援主催（大阪大学/シンガポール）：ASEAN キャリアフェア 2015
- 01/28 来訪者対応・意見交換（国連大学）：ラモス・ホルタ国連平和活動改革パネル議長（1996 年ノーベル平和賞受賞者）
- 01/20 共催公開シンポジウム企画・運営（大阪大学×外務省大阪分室）：「北東アジア情勢の展望～よりよい善隣関係を求めて～」（大阪）
- 01/19 来訪者対応（大阪大学）：T.V.ポール加マギル大学
- 01/13 来訪者対応（国連大学）：ラドスー国連事務次長
- 01/09 大学間交流（大阪大学北米センター、サンフランシスコ）：JUNBA2015

## 2014 年

- 12/20 大学間交流・起工式（日越大学、ハノイ）：日越大学起工式
- 12/13 招待講演（日本国際連合学会、韓国）：“Peacebuilding Issues in Intra-State and Regional Conflicts: Enhancing contributions to UN peacekeeping, peacebuilding and humanitarian Activities”
- 12/05 国際シンポジウム・モデレーター兼総括講演（防衛省 国際平和協力センター案件）：第 4 回 国際平和と安全シンポジウム「複合緊急事態における民軍連携—Complex Emergencies—」
- 12/04 国際シンポジウム・モデレーター（外務省案件）：アフリカ開発セミナー“Post-2015 Development Agenda”（東京）
- 11/27 基調講演（IAAPS、韓国・仁川）：5th Annual Conference, “Regional Integration in the Asia Pacific Region”
- 11/25 大学間交流（国連大学広報センター）：「国連アカデミック・インパクト」会議
- 11/15 主催者代表・挨拶（グローバルクラスルーム日本委員会）：全日本高校模擬国連大会
- 11/06 招待講演（外務省・日本国際連合協会京都本部案件）：国連公開講座「世界を語る：国際紛争と国連の役割」
- 10/25 大学間交流（メキシコ）：日墨大学学長会議
- 10/23 来訪者対応・意見交換（笹川平和財団）：スリン・ピツワス前 ASEAN 事務総長
- 10/13 招待講演（国連大学）：学術セミナー“Deepening the Japan-India Partnership”（東京）

- 10/02 来訪者対応（大阪大学×駐日南アフリカ共和国大使館）：マンデラ記念セミナー
- 09/14 研修事業・企画運営（大阪大学×赤十字国際委員会（ICRC））：「アジア若手指導者養成講座～国際人道問題における原則と現場実践を学ぶ～」企画・運営
- 09/13 招待パネリスト（日本政府・外務省案件）：「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」WAW! Tokyo 2014 <安倍総理ご夫妻ご主催>（東京）
- 07/31 来訪者対応（大阪大学×在大阪中国総領事館）：中国共産党対外連絡部代表団（大阪）
- 07/22 国際セミナー企画・モデレーター（外務省案件）：安保理改革に関する公開セミナー“Towards a Greater Convergence through Engagement with Civil Society” <ニューヨークより招へいた 16 カ国の国連常駐代表と吉川大使を囲んで開催>（東京）
- 07/09 高大接続・招待講演（徳島）：徳島県立城東高校
- 07/04 来訪者対応（外務省案件）：ニューヨークより招へいた島嶼国の国連常駐代表ら 8 人との意見交換を企画・運営（京都）
- 06/05 大学間交流・式典参加（独フランクフルト）：ゲーテ大学創立 100 周年式典
- 05/02 招待講演（在豪日本大使館×豪戦略政策研究所）：“Strengthening a rules-based order in the Asia-Pacific : Developing an Australia-Japan agenda for strengthening agreed rules and norms in the Asia-Pacific”
- 04/14 有識者会議（外務省）：「平和構築分野に関する有識者懇談会」（波多野敬雄座長）提言の岸田外務大臣への提出（事務局と連携し、提言案の起案ととりまとめを担当）（東京）
- 04/07 大学間交流・意見交換（在京豪大使館案件）：日豪高等教育業界に関する円卓会議にてご来日したロブ豪貿易・投資大臣らと懇談（大阪）
- 04/02 来訪者対応・意見交換（外務省案件）：アッシュ第 68 回国連総会議長らとの懇談会<三ツ矢副大臣ご主催>（東京）
- 03/26 来訪者対応・意見交換（外務省案件）外務省／セミナー“Cooperation between in the work of Japan and ASEAN in U.N.” <ニューヨークより招へいた ASEAN6 カ国の国連常駐代表らとの懇談を企画、運営。京都にて世界遺産の西本願寺様にご協力をいただき安穩殿にて実施>
- 02/28 来訪者対応・意見交換（大阪大学×在京リトアニア大使館案件）：オレカス国防大臣（大阪）
- 02/05 大学間交流（大阪大学×在京サウジアラビア大使館案件）：サルマン皇太子のご来日にあわせ、キング・アブドゥルアジーズ大学と大阪大学との学術交流協定を準備、署名式を実施（東京）
- 01/14 招待講演（国際交流基金）：KAKEHASHI Project- The Bridge for Tomorrow 米国若手研究者招へいプログラムにおける講義

## 2013 年

- 12/06 国際シンポジウム・モデレーター兼総括講演（防衛省 国際平和協力センター案件）：第 3 回国際平和と安全シンポジウム「大規模自然災害における民軍連携」企画・運営・総括講演（東京）
- 12/03 講演会主催・モデレーター（大阪大学）：財務省古澤満宏財務官
- 11/16 主催者代表・挨拶（グローバルクラスルーム日本委員会）：全日本高校模擬国連大会
- 11/15 招待講演（韓国・チョンヨン）：韓国国連システム学会 The 13th East Asian Seminar on the United Nations “New Global Challenges to Security and East Asian Leadership in the

## United Nations”

- 10/08 出張講義（国連大学）：IPS 学位プログラムにおいて講義（東京）
- 09/10 研修事業企画・運営（大阪大学×赤十字国際委員会（ICRC））：「国際人道法集中講座」（大阪）
- 08/28 招待講演（国立国会図書館）：「国連を知る—組織・制度から国連外交の実像まで」（東京）
- 08/18 政策対話（モンゴル政府×拓殖大学）：第3回日モンゴル戦略対話（ウランバートル）
- 05/23 現地調査（UNESCO プノンペン）：世界遺産委員会
- 04/26 来訪者対応・意見交換（大阪大学×在大阪オランダ総領事館）：バルケネンデ首相（大阪）
- 04/22 来訪者対応・意見交換（駐大阪台湾経済文化代表処対応）：東海平和研究学者日本訪問団団員（大阪）
- 04/13 来訪者対応・意見交換（外務省）ラスムセン NATO 事務総長（大阪）
- 01/26-30 政策広報・巡回講演（外務省）／タイ、ベトナムにて講演・メディア対応
- 01/24 基調講演（内閣府国際平和協力本部事務局）：第4回国際平和協力シンポジウム（東京）

## 2012年

- 12/10 在京ドイツ大使館／シュタンツェル駐日大使のご講演会 企画・運営（大阪）
- 11/28 駐大阪アメリカ総領事館／シンポジウム“U.S. Presidential and Congressional Elections and Implications for the U.S.-Japan Alliance”パネリスト（大阪）
- 11/22 国連大学・国連大学協力会／シンポジウム “Environment and Peace- Toward More Integrated Sustainability”パネリスト（東京）
- 11/17 防衛省／統合幕僚学校国際平和協力センター第2回国際平和と安全シンポジウム「統合任務に見る課題—機能、組織及び枠組み—」企画・運営・総括講演（東京）
- 11/10 外務省後援、グローバルクラスルーム日本委員会／全日本高校模擬国連大会 評議会議長として企画・運営
- 11/05 外務省／シンポジウム「国連と日本の PKO20 年—新たな課題への対応—」企画・パネルディスカッション運営<玄葉外相ご挨拶、ラドスー国連 PKO 局長、西田国連大使らのご出席>（東京）
- 10/22 外務省後援、日本国際連合協会関西本部／国連午餐会 講演「国連が国際平和のために成し遂げられること」（大阪）
- 10/10 国連大学／学位プログラム International Peace and Security (IPS) 講義（東京）
- 10/03 防衛省／統合幕僚学校国際平和協力センター国際平和協力基礎講座 講義（東京）
- 08/08 駐大阪ドイツ総領事館／来日中のカウダー連邦議会院内総務との意見交換（大阪）
- 08/07 外務省／「外交・安全保障関係シンクタンクのあり方に関する有識者懇談会」（田中直毅座長）提言の玄葉外務大臣への提出（事務局と連携し、提言案の起案ととりまとめを担当）（東京）
- 08/06 自衛隊大阪地方協力本部／国際安全保障ワークショップ 2012 企画・運営（大阪）
- 08/03 外務省／ザンビア外務観光省アジア大洋州局長との意見交換（大阪）
- 08/01 駐大阪タイ総領事館／キングプラジャディポック研究所長らご一行との意見交換（大阪）
- 07/27 駐大阪ドイツ総領事館／有識者懇談会“The Global and Asian Security Situation: The View of NATO”参加（大阪）
- 07/04 モンゴル政府・拓殖大学／第2回日モンゴル戦略対話に参加（東京）
- 06/29 スロバキア政府／来日中のガシュパロヴィチ大統領の講演会を企画・運営（大阪）

- 06/24 防衛省防衛研究所／国際安全保障フォーラム・イン・関西 2012 企画・運営（大阪）
- 02/29 外務省（在ベトナム日本国大使館）／日越会議「アジア太平洋における地域安全保障－日越協力のための政策協議」参加（ハノイ）
- 02/15 ウズベキスタン政府／国際会議“Training of the educated and intellectually developed generation – as the most important condition of sustainable development and modernization of the country”参加（タシケント）
- 02/08 駐大阪アメリカ総領事館／セミナー「中国の安全保障政策と日米同盟：今後の展望を探る」モデレーター（大阪）
- 02/01 防衛省／統合幕僚学校国際平和協力センター国際平和協力基礎講座 講義（東京）
- 01/20 日本国際問題研究所・石川県／日米金沢会議に出席（金沢）
- 01/04 バングラデシュ戦略国際問題研究所・国際交流基金／国際会議“Prospects for Peace and Security through Regional Cooperation in 21st Century South Asia: The Role of Japan”出席・報告（ダッカ）

## 2011年

- 12/07 防衛省／統合幕僚学校国際平和協力センター第2回国際平和と安全シンポジウム「多機能型PKOと統合平和ミッションにおける課題」企画・運営・総括講演（東京）
- 11/19 外務省後援、日本国際連合協会関西本部／国連協会関西本部創設60周年記念講演会 講演「国際安全保障の現在と日本の国連外交」（大阪）
- 11/14 外務省／平成22年度外務省委託研究報告書『国連平和維持活動の計画立案（プランニング）過程の評価』公表 研究代表者として報告書の起案・とりまとめ
- 11/12 外務省後援、グローバルクラスルーム日本委員会／全日本高校模擬国連大会 評議会議長として企画・運営
- 10/04 防衛省／統合幕僚学校国際平和協力センター国際平和協力基礎講座 講義（東京）
- 09/19 赤十字国際委員会（ICRC）／「国際人道法集中講座」の企画・運営補助（大阪）
- 08/01 モンゴル政府・拓殖大学／第1回日モンゴル戦略対話に参加（東京）
- 07/04 外務省／政策評価（国際平和協力室）
- 05/31 外務省／国連・マルチ外交研究会 参加・報告（東京）
- 03/31 日本国際問題研究所／外務省委託研究「公共財としての日米同盟」報告書発行
- 03/25-30 外務省／講師派遣事業（スリランカにて視察・講演・有識者らとの意見交換）
- 03/01-06 外務省／講師派遣事業（ガーナにて視察・講演・有識者らとの意見交換）
- 02/18 外務省・NGO／第9回国連改革に関するパブリックフォーラムの準備・運営・モデレーター（東京）
- 01/19 文化庁・東京文化財研究所／『復興』と文化遺産」シンポジウム企画・運営（東京）

## 2010年

- 12/17 韓国国連システム学会／シンポジウム“Changing Global Governance and the United Nations”参加・司会・討論（ソウル）
- 12/14 バングラデシュ戦略国際問題研究所／シンポジウム“International Conference on Promoting Security Sector Reform in South Asia: Lessons from Japanese Experience”参

加・講演（ダッカ）

- 12/13 広島平和構築人材育成センター／平和構築基礎セミナー 講義（東京）
- 12/06 駐大阪アメリカ総領事館／セミナー Program on “Future of the U.S.-Japan Alliance: Security in East Asia and Nuclear Policy” 企画・講演（大阪）
- 12/01 外務省／シンポジウム「平和構築の課題～平和維持と平和構築の有機的連携を目指して～」モデレーター・総括コメント<前原外相ご挨拶、緒方 JICA 理事長、ルロワ国連 PKO 局長らが出席>
- 10/04 駐大阪ドイツ総領事館／フィッシャー元外相ご講演会の実施（大阪）
- 08/03 自衛隊大阪地方協力本部／国際安全保障ワークショップ 2010 企画・運営（大阪）
- 05/25 外務省・文化庁・文化遺産国際協力コンソーシアム／国際シンポジウム「文化遺産保護は平和の礎(いしずえ)をつくる」参加・講演（東京）
- 04/14-17 外務省／講師派遣事業（ポルトガルにて視察・講演・有識者らとの意見交換）
- 01/26 外務省／国連政策研究会（最終回）
- 01/25 外務省／シンポジウム「シンポジウム：国連安保理の機能と日本の役割ー大量破壊兵器の脅威にどう立ち向かうかー」参加・モデレーター・総括（東京）<福山副大臣ご挨拶、高須国連大使、赤坂国連広報局長らが参加>
- 01/20 広島平和構築人材育成センター／平和構築基礎セミナー 講義（東京）

2009 年

- 12/10 駐大阪ドイツ総領事館／オルブリッヒ総領事よりご講演会の開催（大阪）
- 11/23 外務省・欧州連合／The 12th EU-Japan Conference 参加・講演（ブラッセル）
- 11/21 平和・安全保障研究所／関西安全保障セミナー 企画・運営（大阪）
- 11/11 国際情勢研究会／講演「国連外交と今後の日本の対応」（東京）
- 11/10 内閣府国際平和協力本部事務局／平成 21 年度国際平和協力シンポジウム 参加・コメンテーター（東京）
- 10/29 経済協力開発機構（OECD）／世界フォーラム 参加・講演（釜山）
- 10/27 外務省／国連平和維持活動に係る幹部要員訓練コース（GPOI/SML） 講義（東京）
- 10/20 駐大阪アメリカ総領事館／セミナー「東アジア安全保障の今後を読むーオバマ米大統領 初のアジア歴訪を控えてー」モデレーター・コメンテーター・総括（大阪）
- 09/08 国連大学／国連大学グローバル・セミナー2009 神戸・ひょうごセッション 実行委員長として企画・運営（神戸・淡路）
- 08/11 駐大阪アメリカ総領事館／セミナー「北朝鮮を越えて～日米中 3 カ国安全保障協力は可能か～」モデレーター・コメンテーター・総括（大阪）
- 06/08 駐大阪アメリカ総領事館／昼食懇談会「オバマ政権下における朝鮮半島のゆくえ」参加・コメント
- 05/10-21 外務省／講師派遣事業（ポルトガル、オランダ、デンマークにて視察・講演・有識者らとの意見交換）
- 03/31 外務省・NGO／第 7 回国連改革に関するパブリックフォーラムの準備・運営・モデレーター・総括（東京）
- 03/24 外務省・広島平和構築人材育成センター／シンポジウム「平和と人材育成に対する日本の貢

献『平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業』の総括と将来に向けた課題及び展望」  
講演（東京）

03/18 駐大阪アメリカ総領事館／"The Rise of China and its Implications for Regional Security"  
セミナーの司会・コメント

03/11 外務省／「人間の安全保障シンポジウム～人間の安全保障の実践と理論～」参加・パネリスト  
ト・総括

#### 2008年

12/18 日仏外交関係樹立 150 周年-新たなる協力関係に向けて・シンポジウム「人間の安全保障-21  
世紀の新たな概念となりうるか」出席・コメント（パリ）

12/10 加 IDRC・国連 PBSO／Peacebuilding Roundtable 出席、報告"Challenges and Gaps in  
Peacebuilding"（オタワ）

12/01 外務省／シンポジウム「平和と安全のための国際協調戦略」参加・パネリスト（東京）<中曾  
根外相ご挨拶、緒方 JICA 理事長、高須国連大使らが登壇>

11/29 平和・安全保障研究所／「創立 30 周年記念シンポジウム」参加・講演（東京）

11/28 国際開発高等教育機構／第 82 回国際開発援助動向研究会にて講演「国連平和構築委員会  
（PBC）のビジネスモデル」（東京）

11/24-25 カナダ外務省／The 7th Canada-Japan Symposium on Peace and Security Cooperation  
出席、"How to Integrate Multiple Facets of Peacebuilding Cooperation"について講演（オ  
タワ）

（以下、略）